

第四 龍潭司 山門 洞口 附近ノ戦闘

自昭和二十年四月十九日
至昭和二十年四月二十九日

目次

- 一 戦闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 二 戦闘ニ影響ヲ及ホシタル氣象地形及住民地ノ状態
- 三 彼我ノ兵力交戦セシ敵團隊號 將帥ノ氏名 編成裝備 素質及戦法
- 四 各時期ニ於ケル戦闘經過 關係部隊ノ動作及連絡施設ノ状態
- 五 戦闘後ニ於ケル彼我形勢ノ概要
- 六 武功故實ナル者

別紙要圖第一 龍潭司東方地區進退ノ戦闘經過要圖

第三部隊主力龍潭司東方地區進退時ニ於ケル敵情要圖

第三主洞附近戦闘經過要圖 (四月二十三日—二十五日)

第四主洞附近戦闘經過要圖 (四月二十六日ニ於ケル)

第五捕虜ノ陳述ニ依ル敵情要圖

第六各大隊前西島景圖

第七主洞附近戦闘經過要圖

表 第一將校職員表

表 第二死傷表

表 第三亡獲表

表 第四兵器損耗表

一戰闘前ニ於ケル彼我形勢ノ概要

其ノ一敵情

隆廻司附近ノ敵ハ依然同西方高地線及烏求下ノ隆廻司道以南ノ高地線ヲ占領シ頑強ニ抵抗シツツアルモ 俘虜報及土民報ヲ綜合スルニ察十九師部ハ十八日隆廻司ノ土嶺界ノ大沙江道ヲ小沙江附近ニ後退セルモノ如シ其ノ二我々軍ノ狀況

聯隊長ハ隆廻司周邊ノ敵ヲ烏求下ノ隆廻司以南及西方地區ニ壓迫セルヲ以テ一部ヲ以テ現在地ヲ確保シ主力ノ前進ヲ掩護セシメ速ニ先ツ土嶺界ニ向テ突進スベク決意シ部隊ハ十九日未明ヨリノ突進ヲ準備中ナリ

宇提部隊ハ既ニ十八日土嶺界ニ突進中ナルモノ如キモソノ情況不明ニシテ杉田部隊ノ進出地点亦詳ナラズ

ニ戰闘ニ影響ヲ及ボシクル氣象地形及住民地ノ狀態

ノ氣象地形

本戰闘間ノ行動地域ハ殆ンド山地帶ニシテ特ニ土嶺界附近ハ標高二〇〇〇米以

上ノ天嶺天空ニ聳エアリ晝間ハ發汗ヲ覺エタルモ夜間ハ寒冷ヲ覺エ晴天ト雖モ山頂ハ〇〇〇頃迄霧ニ蔽ハレ雨天ニテリテハ全山殆ンド霧霧ニ蔽ハレ通視困難ナリ

從ツテ雨天ノ際ハ攻撃ハ或ハ方向ヲ誤リ或ハ斷崖ヨリ轉落スル等戰闘行動ニ支障甚シトセズ

本道ト雖モ高地帶ノ山岳ノ各地ヲ走り巾約一―五米ノ石疊路ナリ道路ニ沿フ谷地ニ水田殆ンドナク山地ハ樹木少ク敵機飛來時ニ於ケル遮蔽困難ナリ又岩石露出セル箇所多ク土嶺界附近山地ハ急坂斷崖ヲ爲シ馬匹ノ前進容易ナラズ 駄載物ヲ卸下シテ前進セリ

2 住民地ノ狀態

石橋鋪ハセーハ〇ノ民家ヲ有スル部落ナリシモ同部落ヲ通過シ土嶺界ヲ經テ景興橋ニ至ル間小部落所マニアルモ少数ニシテ軍隊ノ宿營力乏シ

尙山地道路ニセマリアル爲水田殆ンドナク主食ノ獲得困難ナリ

龍潭司東方附近ノ狀況ハ第五龍潭司江口附近ノ戰闘詳報ニ記述ス

三彼我ノ兵力 交戦セシ敵ノ團隊號將帥ノ氏名 編成裝備素質及戦法
ハ彼我ノ兵力

ハ我カ兵力

歩兵第百九聯隊

獨立山砲兵第ニ聯隊

二兵第百十六聯隊第(中隊)一小隊

師團無線ニヶ分隊

第二野戦病院

衛生隊ノ一部

防疫給水班

口敵ノ兵力及交戦セシ敵ノ團隊號

第七十四軍第(三十一)師主力

第一〇〇軍第(六十三)師ノ一部

第一〇〇軍第(十九)師主力

第三十一師ニ就イテ

2 將帥ノ氏名 編成裝備

イ 第五十一師ノ編成裝備 別表第一ノ如シ

第六十三師第(十九)師各編成裝備ハ前戦闘詳報ニ記載ノ如シ

口 加强編成ノ進捗度

交戦セシ敵第(五十一)師ハ最近急速ニ米式化セシモノト思考シ得サ

ルモ從來ノ支那軍ニ比シ重火器小銃彈藥共極メテ豊富ナリ

火器ノ使用ハ訓練ヲ重ネ巧妙ニシテ特ニ火力集中火力急襲ハ巧

ナリ

第五十一師々部ニハ米人將校(下士官)ニ兵ニアリテ無線電話ニヨ

リ空地連絡ニ任シリタルモノノ如シ

第三十一師ノ火器裝備ノ概要(大尉連長停虜報)

師部 迫撃砲營(中迫82mm最大射程2200m)(一二門)

團部 迫撃砲連() 四門

團部三〇三機關銃連(米製高射併用)六挺
營部戰車防禦銃排

米製火箭筒

二

米製戰防銃

二

連部小炮排(輕迫60^{mm}最大射程1400m) 二門
歩兵一連ノ兵力裝備

兵力(將校ヲ含ム) 龍潭司ニテハ一九〇名

裝備LG六MM四自動小銃(トナソン)三小銃五〇

第十九師及第六十三師ハ第五十一師ニ比シ裝備悪シ

三素質

一敵ハ二十歳未満ノ少年ヲ多數徵集第一線ニ参加セシメテ猪突猛進シ來ノ戰意旺盛ナリ

二第三十一師ハ戰力突進力又大ナリ特ニ飛行機ト協同時ニ於テ戰意ハ旺盛ニシテ突進力亦大ナリ

逆襲ニ方リテハ突撃ラッパヲ吹奏シ夜中復ヨリ頂上ハ熾シニ手榴彈ヲ投擲シ來レリ又中腹ヨリ放火シ我ヲ火攻セシトセシコトナリ

四戰法ノ特異性

一敵ハ斥候又ハ諜報ヲ以テ我ヲ窺フ情況ヲ偵察シタル後部隊ヲ前進セシ
ルモノノ如シ

二敵ハ火力不足ノ戰闘ヲ極度ニ強調シタル

我ハ部隊ノ敵陣地ヲ攻撃スルヤ正面射ノミナズ斜射側射等火力ヲ集中シ極度巧ミシテ陣前死角ノ消滅陣地間ノ火力ニヨリ協同ハ巧妙ナリ

我ハ部隊敵陣地ヲ奪取スルヤ敵ハ二段或ハ三段攻撃ヘシテ波狀約逆襲ヲ實施セリ又敵ハ我陣地ニ來攻スルニ當リテハ先ッ追撃砲ヲ以テ約一時間

ニ亘リ我陣地ヲ封鎖シ之ヲ波環制壓シタル後步兵ハ追撃砲重火器支援ノ下ニ波狀的ニ攻撃前進シ來ル又步兵突撃前敵ノ追撃砲ハ我陣地

ニ集中火ヲ浴セ步兵ハ集中火ノ真中ニ突入シ來ル狀況ニシテ敵自身モ自己ノ追撃砲彈ニヨリ損害ヲ蒙ル有様屢々ナリ

敵ハ又攻撃前進ニ方リテ屢々黒龍ヲ發射信號セリ

ハ敵ハ突撃ニ方リテ手榴彈投擲班ト突撃班ヲ編成シ速ニ無二突撃シ来
ル尙突撃隊ハ三人一組ヲ以テ突入シ来ル

ニ敵ノ空地連絡ハ相當訓練シテモノノ如ク歩飛協同ノ下ニ行テ攻撃動
作ハ巧ナリ

空地連絡ノ一例

(一) 第一線ノ標示

對空布板

白煙(發煙筒焚火等)

擲彈銃 射撃信號

(二) 無線機ニヨル(三トシテ米人操作)

(三) 空地連絡員ハ便衣ヲ着用シ森林或ハ山頂ニ潜在シテ及射鏡ニ

ヨリ目標ヲ指示ス

(四) 潜伏斥候ヲ以テ日本軍集結地域ノ周辺ニ狼火ヲ生セシム

ホ重点方面ニ指向スル敵ノ歩砲飛ノ綜合戦力發揮及兵力部署ハ從前ニ

比シ著シク進歩セル觀アリ

ハ敵携行手榴彈數ハ多ク手榴彈戰闘ハ巧妙ナリ

5 其ノ他参考事項

ハ特殊ナル兵器彈藥ノ現出状況

(一) 主洞附近ノ戰闘ニ於テハ敵ハロケット砲ヲ使用シ之ヲ彈藥ハ「彈

ヲ使用シテテ浸徹力大ナリ其ノ彈痕左ノ如シ

27
15

彈痕

何レモ六〇程ノ程度ノ口徑ニシテ「彈」ノ經始ハ密ナリサルモ「アルミニ

ム」ヲ以テ炸藥ヲ被覆シテ放シ「ガス」ハ如何ナルモノヤ判明セズ

又頻繁ニ飛來スル敵機ヨリモ「ロケット砲」ヲ以テ地上ヲ射撃シ來ル或ハ

石油缶ヲ再三投下シ燒夷彈ニ應用セリ

迫撃砲ニ「彈」ヲ使用シテ「アルミニ」ヲコシ

ハ兵器彈藥糧秣ノ集積補給ノ状況

俘虜報ニ依リハ敵ハ「ロケット砲」集積所ヲ設置シ奥地ノ「江口」間ハ自

動貨車ニ依リ彈藥ヲ前送シ江ノ龍潭司及ソノ前線ヘノ彈藥輸送ハ師團糧重營之ヲ担任シアリ

糧秣ハ龍潭司ニ集積所アリ相當量ヲ集積シアタルモ我々軍ノ主洞附近進出ニ伴ヒ該糧秣ハ學生ノ動員シ撤消ヘ輸送セシモノ如シ

其ノ他敵ノ兵密彈藥糧秣ノ補給ハ極メテ順調ニシテ特ニ龍潭司附近ニ於ケル駄馬苦力等ニ依ル補給力ハ大ナルモノアリ

又各陣地ニ遺棄サレアル彈藥相當數アリテ豊富ニ補給サレアリタルモノト認メラル

ハ俘虜ノ疎迷ノ確度

(一)敵兵ニシテ我ニ捕獲セラレタルモノ多クハ二營六ニシテ彼等ノ疎迷ハ最初ヨリ比較的疎迷ナリ率直ニ知ル所ヲ語クタルモ軍ノ行動作戰ニ就キテハ知ル所ナシ

(二)主洞附近ニ於テ捕獲セル第五十一師第五二團ノ敵連長大尉ハ最初ノ訊問時ニハ上等兵ト稱シ次ノ日ニ伍長班長ト稱シ第三日ニ中尉排長ト稱シ第四日ニミエリ漸ク大尉連長ナル眞實ノ身分ヲ明白セリ

然レ共自己所屬ノ團師ノ行動ニツキ知ル所ハ廣範圍ニ亘リ知悉シアリ

テ日ヲ經テ逐次冷靜ニナルニ從ヒ軍ノ行動及他部隊ノ情況ニ就キテモ有利ナル情報ヲ提供シ作戰指導上利アリ

(二)敵ノ手榴彈使用ハ教育不充ナルカ安全栓ヲ脱スルヲテノ技擲セルモノ多數アリ之等ハ部隊ニ於テ利用セリ

敵ノ排長ハトンプソン機關短銃ヲ所持シ先頭ヲ突進シ終リ時トシテ「ベルグマン」機關短銃ヲ所持シアリ

第十九師ニ就イテ

第十九師ハ第一ノ軍中優秀部隊ト稱サレテ如ク戰意旺盛ニシテ戦力突進力又大ナリ訓練亦精到ニシテ火力集中火力急襲及陣地間ノ射撃ノ協同巧ナリ火力戰闘ヲ強調ニセル矣第五十一師ト同様ナリ戦法亦第五十一師ト大差ナシ第五十二師ハ第十九師ニ比シ稍々劣ル

四各時期ニ於ケル戰闘經過關係部隊ノ動作及連絡施設ノ状態

聯隊長ハ等々中隊ヲシテ興隆橋北方二軒ノ高地ヲ占領又池野小隊主力(附一分屬)ヲ以テ二〇高地ヲ確保シ後續部隊ノ通過ヲ掩護セシメ主力ハ十九日拂曉隆廻司東北方約二軒附近ヲ出發^勢口^勢ITL TA RIA 2BAS 第一第三第四第五梯隊ノ行軍序列ヲ以テ隆廻司東北方二軒一隆廻司北方地區一石橋鋪ヲ經テエ嶺界ニ向ヒ前進ヲ開始セリ

當時隆廻司東南方高地及西方高地線ハ有力ナル敵之ヲ占領シテ我土嶺界ニ向ツテ前進ヲ察知シ十九日朝夜迫撃砲重火器ヲ以テ射撃シ來リ後續部隊ノ前進ヲ妨害シノ行動ハ困難ヲ予想セラレタルヲ以テ後續部隊ノ隆廻司附近隘路通過ヲ容易ナラシムル爲 聯隊長ハ二〇龍作命令第四十二號ヲ下達シ山砲一中(二門ス)ヲシテ隆廻司西北側高地附近ヲ占領セシメ第五梯隊ト密ニ協力後續部隊ノ通過ヲ容易ナラシム

龍作命令第四十二號

龍 部隊命令

四月十九日二〇〇
石橋鋪東方五〇〇

一 隆廻司東南方地區ニ依然若干ノ敵在リテ我カ後續部隊ノ行動ヲ妨害シアリ

二 部隊ハ後續部隊ノ隘路口通過ヲ容易ナラシムル爲山砲一中(二門ス)ヲ第五梯隊長ニ協力セシメントス

三 盛野部隊長ハ山砲一中(二門ス)ヲシテ隆廻司西北側高地附近ニ於テ先々東南方地區ノ敵ヲ射撃セシメ後續部隊ノ通過ヲ容易ナラシム

第五梯隊長ト密ニ協力セシムベシ

四 予ハ部隊本部ノ先頭ノ前進ス

龍 部隊長

下達法 第五梯隊長ニ通報後命令受領者ヲ余メテ達筆記後即副交付

配布區分 口線下指揮下各部隊

十九日一二三〇頃部隊ハ隆廻司北方地區ヲ前進中敵機四上十二機來シ偵察セルモ發見スルニ到ラズ

(二〇)隆廻司西方約三軒爲名部各ニ於テ嵐參電第四十二號左記嵐作命令第四十六號要旨ヲ受領ス

左 記

一龍寺部隊ハ龍潭司「汀州(江口)一金屋塘一瓦屋塘道」沿フ地區ヲ花
園市西方地區ニ突進ス

一部各一中隊基幹ヲ以テ三角地(龍潭司西方四軒)東側及汀州(江口)附近
ヲ確保セシム

ニ又飯島部隊ヲシテ遠ニ白石橋(龍潭司西北六軒)一新路河(永安(安江)北
々東十軒)一永安(安江)道沿フ地區ヲ突進「永安(安江)附近ノ渡河點ヲ
占領スルト共ニ敵ノ退路ヲ遮断セシム

爾後同部隊分テ直轄ス

三加川部隊ノシテ一部ヲ以テ龍華山(白馬山)北側ヨリ三力ヲ以テ龍華山南側ヨ
リ山門附近ノ敵ヲ攻撃「瑞金(洞口)西方地區ニ進出セシメ兒王部隊ヲシテ資
江南岸地區ヲ會昌(高沙市)ニ向テ攻撃セシム

四予ハ依然加川部隊ノ進路ヲ前進ス

右命令ニ基キ部隊ハ予定ノ如ク先ツ龍潭司ニ向テ突進スルニ決ス

一二五。字號大隊長ニ左記電報ヲ受領シ同部隊(第三中隊)大隊長ニ
ス

又(聯隊砲隊)ハ(小久)砲台附近ニ(砲)ハ既ニ土嶺界附近ニ進出シアルニト判明セリ

中電 第四十一號

一十九日〇四〇土嶺界東方一軒ニ達シ追撃砲ヲ有ス約一營ノ敵ニ對峙中

部隊ハ予定ノ如ク前進シ二三〇頃主力ヲ以テ石橋鋪ニ到リ同地ニ於テ杉田部

隊(第三大隊)等と大隊長ニ(聯隊砲)ハ(小久)砲台附近ニ進出シアルニト判明セリ

ヲ掌握セリ杉田部隊ハ十八日以來連絡不通ノ爲メソノ情況不詳ナリ十九日

早朝同部隊ハ陸路ヨリ北方ニ新開鎮曲線高地附近ヲ撤シ石橋鋪ニ向テ前進シ

同地附近ニ於テ少數ノ敵ヲ撃破シ附近要點ヲ占領シ部隊主力ノ通過掩護ニ任

シアリタリ

聯隊長ハ一六四〇石橋鋪ニ於テ聯隊命令田第四十三號其ノ一ヲ下達ス

聯隊命令田第四十三號其ノ一

龍 部隊命令

一九四〇年九月一六四〇
石橋鋪

一石橋鋪附近ニ第三十九師第五團ノ約ニ連在ヲタシモ字號部隊ノ奮闘
ニ依リ土嶺界附近ニ退避シタルモノ如ク一〇〇頃土嶺界方向ニ於テ銃砲聲旺ニ

二部隊ハ一部ヲ先遣シシメ主力ハ續イテ牛家店附近ニ前進セントス
三宇提部隊ハ先遣隊トナリ淑本塘―土嶺界―花坪道ヲ小沙江ニ向ヒ突進
スベシ

山砲一中ノ配屬ヲ解フ

四杉田部隊ハ前衛トナリ先遣隊ノ進路ヲ牛家店ニ向ヒ前進スベシ

五爾余ノ諸隊ハ本隊ノ後方ヲ牛家店ニ向ヒ前進スベシ

六予ハ本隊ノ先頭ヲ前進ス

龍 部隊 長

下達法 要旨電報後命令受領者ヲ集メ口達筆記セシメテ後印刷ス付

配布區分 D 隸下指揮下各部隊

右命令ニ依リ宇提部隊(新山砲一中ノ配屬ヲ解フ)ハ先遣隊トナリ土嶺界―花
坪道ヲ小沙江ニ向ヒ突進スルニ決シ主力ハ杉田部隊ヲ前衛トシテソノ後方ヲ牛家店
ニ向ヒ前進シ(九〇〇頃淑本塘(土嶺界東南約六軒)附近ニ進出ス

當時土嶺界附近山地線ニ迫撃砲數門ヲ有スル約(ヶ)營(第十九師第五十六團第三營)
天嶺ヲ恃ミ堅固ニ陣地ヲ占領シ淑本塘―土嶺界道隘路ヲ扼シテ宇提部隊

ノ將校斥候ノ報告ニ依リ山地ハ急峻ニシテ敵ハ陣地間ノ射撃ヲ協同密接ニシテ
死角ヲ巧ニ消滅シ重火器ヨリ火制熾烈ニシテ攻撃困難ヲ思ハシムルモノアリタリ
土嶺界最高峯ヲ望ミ風景圖 別紙要圖第六其ノ一ノ如シ

聯隊長ハ宇提部隊ノ一部ヲ以テ該敵ヲ夜襲セシメ斷乎龍潭司ニ向ヒ突進スベク
決意シ二〇〇龍作命甲第四十三號其ノ二ヲ下達ス

龍作命甲第四十三號其ノ二

龍 部隊 命令

四月十九日二〇〇〇
淑本塘

一迫撃砲數門ヲ有スル約(ヶ)營ノ敵ハ土嶺界東方高地線ヨリ土嶺界附近要
點ヲ經テ花溪北側高地ニ立リ堅固ニ陣地ヲ占領シタリ

二部隊ハ一部兵力ヲ以テ本十九日夜土嶺界附近敵陣地ヲ攻略セントス

三宇提部隊(配屬如故)ハ今夜土嶺界附近要點ヲ攻撃シ之ヲ奪取スベシ

四杉田部隊(配屬如故)ハ予備隊トナリ現在地附近ニ位置スベシ 宇提部隊ノ土

嶺界附近奪取後之ヲ超越シ突進スルノ準備ニ在ルベシ

五通信中隊長ハ聯隊本部各大隊間ニ有線通信網ヲ構成スベシ

六爾余ノ諸隊ハ現在地ニ於テ爾後ノ突進ヲ準備スベシ
セ予ハ淑本塘西北一新ニ在リ

龍 部隊 長

下達 浩 電報復命令受領者ヲ集メ口達筆記後印刷交付
配布区分 D 隸下指揮下各部隊

宇提部隊ハ十九日二一〇頃土嶺界東南方約一軒附近ヲ出發攻撃前進ヲ開始
シ急峻ナル高峰ヲ攀登逐次敵陣地ヲ奪取シ二十日〇六〇頃壯烈ナル夜襲ヲ以
テ遂ニ土嶺界東側及西南側ノ最高峰ヲ攻略シ敵ノ堅陣ヲ瓦解セシメタリ
之ヲ先茅十一中隊長佐野中尉ハ土嶺界^{西南側}最高峰ノ奪取ヲ命ゼラルルヤ出發
ニ方リ宇提大隊長ニ向ヒ所命ノ高地ヲ御期待通り攻略スル能ハズニハ切腹シテ
オ詫ビ致シマスト成功ヲ誓ヒ勇躍前進セル光景ハ洵ニ意氣悲壯ニシテ大隊長
及側近ノモノヲシテ暫シ感涙ニ咽ハシムルモノアリタリ

茲ニ於テ聯隊長ハ一部ヲ以テ奪取セル現在ノ高地線ヲ確保シ部隊主力ノ進出
ヲ掩護セシムルト共ニ主力ヲ以テ小沙江ニ向ヒ突進スベク決心シ二十日〇六三〇龍

作命甲第四十四號ヲ下達ス

龍作命甲第四十四號

龍 部隊 命令

四月二十日〇六〇〇
淑本塘西北一新

一 宇提部隊ハ果敢ナル夜襲ニ依リ土嶺界東側高地(帶ノ敵陣地ノ一部)ヲ奪
取セリ

二 部隊ハ一部ヲ以テ奪取セル現在ノ高地線ヲ確保部隊主力ノ進出ヲ掩護セシムル
ト共ニ主力ヲ以テ小沙江ニ向ヒ突進セントス

三 宇提部隊(欠除故ノ如シ)ハ主力ヲ以テ依然戰果ヲ擴張スルト共ニ一部ヲ以テ奪
取セシ現在ノ高地線ヲ確保先遣隊ノ前進ヲ掩護セシメタル後前衛トナリ小沙江
ニ向ヒ前進スベシ

前進ノ時機ハ別命ス

宇提部隊長ハ現ニ配屬中ノ山砲一中隊ヲ原所屬ニ復歸セシムベシ

尚竹内大隊ヲ協同セシム

四 杉田部隊(新山砲中屬)ハ直ニ兵力ヲ集結先遣隊トナリ宇提部隊ヲ超越シ

小沙江ニ向ヒ突進スベシ

五盛野部隊ハ本隊ノ後方ヲ前進スベシ

新ニ山砲一中隊ヲ現在地ニ於テ杉田部隊長ノ指揮ニ入ラシムルト共ニ竹内大隊(中
久)ヲ宇提部隊ノ戦闘ニ協同セシムベシ

六通信中隊長ハ前進間先遣隊前衛並ニ本隊間ノ有線通信連絡ニ任ズベシ
七爾余ノ諸隊ハ警戒ヲ至嚴ナラシメツ本隊ノ後方ヲ前進スベシ

本隊出發ノ時機ハ〇九〇ト予定スルモ別命ス

ハ予ハ現在地ニ在リ前進ニ當リテハ本隊ノ先頭ニ在リ

龍 部隊長

下達法 II IIIニ電話命令受領者ヲ集メ口達至記役印別交付

配布區分 D 録下指揮下各部隊

宇提部隊(新ニ山砲一中)ノ配屬ヲ解クハ引續キ主力ヲ以テ戰果ヲ擴張スルト
共ニ一部ヲ以テ奪取セシ現高地線ヲ確保シ先遣隊ノ前進掩護ニ任ズ
杉田部隊(新ニ山砲一中屬)ハ兵力ヲ集結シ先遣隊トナリ土嶺界附近急坂ヲ攀

登シ二十日〇〇頃宇提部隊ヲ超越シ小沙江ニ向ヒ前進ス

引續キ宇提部隊ハ前衛トナリ爾余ノ諸隊ハ本隊トナリテ敗敵ヲ急追小沙江

ニ向ヒ前進ス

20日

杉田部隊ハ土嶺界一ニ花坪道南北ノ山地ニ陣地ヲ占領シ歩々抵抗ヲ試ミ
ル敵ヲ逐次撃破シツツ六〇〇頃迄花坪西方地區ニ進出セリ
之ヨリ先(三四)頃飯島大隊長ヨリ左記報告電報ヲ受領ス

飯電第二五六號

一部隊ハ(昨十七日一八〇〇)部ヲ以テ土洞ヲ奪取シ東方高地及東南側高地

ヲ確保セリ 尚清土界ニ第一中隊ヲ先進セシメタルニ 昨十八日〇六

三〇當面ノ敵退路ヲ遮断セリ

ニ昨十八日〇八三〇頃ヨリ龍津司方向ヨリ東進中ノ迫撃砲數門ヲ有スル一ケ

團以上ノ敵増援部隊ト交戦中 現在狀況苦戦中ニシテ敵ノ増援ヲ阻止

シアリ

又隆廻司方向ヨリ後送中ノ第一中隊ノ担架部隊ヲ捕提シツツアリ

三 清山界占領部隊ハ昨十八日一五二〇部ノ敵退却部隊ヲ捕捉之ヲ撃滅
セリ

四 略

三部隊將兵一同極メテ志氣旺盛ニシテ心配ナシ爾後現在地ヲ確保スルト共ニ
敵情地形ヲ搜索セントス

六 略

飯電第ニ五七號

一大隊主力ハ依然標高一四五〇高地(主洞東北之軒)―主洞東南側高地―
紅岩(主洞東之南五軒)ノ線ヲ確保ス

増援軍ト激戦中ナリ 敵ハ第五十師ノ主力ニシテ第六十三師増援ノ企圖
ヲ有スルモノノ如シ

十九日 廿三日の八三〇重点ヲ主洞東南側高地ニ指向我ヲ西南北ノ三方向ヨリ攻
撃中

二 龍寺部隊主力ハ本道北側ニ沿ス地區ヲ標高一四五〇高地ヨリ龍潭司北側

仙峯嶺方向ニ攻撃スルヲ要ス

主洞東北側高地ニハ約ニ連ノ敵アルモ標高一四五〇高地ハ水澤小隊確保
シアリ

一六三〇頃聯隊長ハ下花坪附近ニ於テ杉田部隊ノ戦闘ヲ指導中 飯島大
隊所在地方向ト思ハシキ方向ニ熾烈ナル銃爆撃ヲ受テ聞テ同部隊ハ第五十一師
主力ト交戦中ナルト共ニ又敵機ノ攻撃ヲ受ケ苦戦シアル情況ヲ察知ス

依ツテ聯隊長ハ本夜暗ニ米シ當面ノ敵ト離脱進路ヲ変更シ速ニ龍潭司附
近ニ進出シ該敵ヲ攻撃 飯島大隊ヲ救援セントシ二〇〇龍作命甲第四十六
號ヲ下達ス

龍作命甲第四十六號

龍 部隊 命令

四月二十日二一〇〇 龍

一 鳥下坪北方位ニ西方高地ニハ約ニ連ノ敵陣地ヲ占領シ其ノ抵抗頑強ナリ
尚飯島部隊ハ猛烈ナル敵ノ砲爆撃ヲ受テ激戦中ナリ

二 部隊ハ進路ヲ変更シ下花坪―上山崎―大沙江道ヲ大沙江南側地區ニ向

と前進セントス

三宇提部隊(新ニICP如屬)公前衛トナリ部隊ノ進路ヲ成立可ク速ニ大沙江南側地區ニ向ヒ前進スベシ

第十中隊ヲ現在地ニ於テ第四中隊長ノ指揮ニ入ラシムベシ

四杉田部隊(大除配屬故ノ如シ)ハ清暮ト共ニ逐次兵力ヲ現在地附近ニ集結シ宇提部隊ノ後方ヲ前進スベシ

又配屬中ノ山砲四門ヲ原所屬ニ復歸セシムベシ

五第四中隊長ハ第十中隊及聯隊機關銃一分ヲ指揮シ土嶺界附近ノ要點ヲ確保シ第三第四第五梯隊ノ前進ヲ掩護シタル後速ニ追及スベシ

六第七中隊ハ現在地ニ於テ宇提部隊長ノ指揮ニ入ルベシ

七西生連尉ハ一分ヲ第四中隊長ノ指揮ニ入ルベシ

八作樂小隊ハ宇提部隊長ノ指揮ニ入ルベシ

九工兵小隊ハ宇提部隊長ノ指揮ニ入ルベシ

十爾余ノ諸隊ハ左記行軍序列ヲ以テ杉田部隊ノ後方ヲ前進スベシ

第一中隊

池野小隊(分久) RHC F. 池野小隊一分 IRL TA BO

第二第三第四第五梯隊

二福井中尉ハ對空班ヲ指揮シ現在地附近ニ於テ部隊交通統制ニ任ズベシ
三予ハ第一梯隊ト共ニ前進ス

龍 部隊長

下達法 命令受領者ヲ集メテ達筆記後印刷交付

配布區分 D 隸下指揮下各部隊

部隊(三)日夜暗ノ利シ當面ノ敵ト離脱シ第四中隊(100及RHC一分ヲ併セ指揮ス)ヲ

以テ土嶺界附近ノ要點ヲ確保シ第三第四第五梯隊ノ前進ヲ掩護セシメ宇提部隊(100ヲ第四中隊長ノ指揮ニ入ラシメ新ニICP如屬)ノ以テ前衛爾余ノ諸隊ヲ以テ本隊トナリ杉田部隊(現ニ配屬中ノ山砲四門ヲ原所屬ニ復歸セシム)第一梯隊第二第三第四第五梯隊ノ行軍序列ヲ以テ二二〇〇区花坪附近ヲ出發シ花坪一上山崗一
大沙江進ヲ大沙江南側地區ニ向ヒ前進ス

然し其本迂迴路、溪谷ヲ縫ヒ道路狹少ニシテ二十日三〇頃ヨリノ降雨ニ道路ハ泥
濘ト化シ月ハ上弦ナレ共悪天候ノ爲暗ク人馬轉倒シ前進ハ困難ヲ極ム

二十日〇二〇頃ヨリ天候恢復シ部隊ノ行進前方ニ天空ニ聳エル高峯ヲ望見シ又
水流ノ南方ニ向ヒ流ルルヲ見ニ民ヲ捕ヘ地名ヲ訊問セシニ部隊ハ進路ヲ誤リ白馬山
ニ向ヒ小貴灣附近ヲ南進中ナルヲ知リ聯隊長ハ道ニ進路ヲ変更シ先ツ進馬江附
近ニ前進スベク〇八〇〇龍作命令第四十七號ヲ下達ス

龍作命令第四十七號

龍 部 隊 命 令

四月二五日〇八〇〇
小貴灣北方附近

一部隊ハ進路ヲ変更シ一部ヲ以テ小貴灣一分水界道ヲ主力ヲ以テ上山崗一進馬
江道ヲ進馬江ニ向ヒ前進セントス

ニ宇振部隊(欠除如故)ハ左縱隊トナリ小貴灣一長衝一分水界道ヲ分水界ニ向
ヒ前進スベシ

三杉田部隊(配屬欠除如故)ハ右縱隊前衛トナリ上山崗一大沙江南方一進馬江道
ヲ進馬江ニ向ヒ前進スベシ

四盛野部隊ハ、竹田大隊主力ヲシテ宇振部隊後方ヲ前進セシメ其ノ戦闘ニ隨
時協同セシムベシ

五爾余ノ諸隊ハ右縱隊本隊トナリ現行軍序列ヲ以テ前衛ノ後方ヲ前進スベシ
六予ハ本隊ノ先頭ヲ前進ス

龍 部 隊 長

下達法 Ⅲハ副官ヲシテ傳達
各隊長ヨリ進 命令受領者ヲ兼メテ進路記後付制ナク

配布区分 Ⅰ 龍部指揮下各部隊

Ⅳ 宇振部隊ハ左縱隊トナリ小貴灣一長衝一分水界道ヲ分水界ニ向ヒ前進スベ
ク〇九〇〇頃小貴灣附近出發 山砲竹田大隊主力ハ宇振部隊ノ後方ヲ前進セリ

Ⅱ 杉田部隊ハ右縱隊前衛トナリ爾余ノ諸隊ハ右縱隊本隊トナリ現行軍序列ヲ
以テ〇九〇〇上山崗一大沙江南方一進馬江道ヲ進馬江ニ向ヒ前進セリ

〇九〇〇頃ヨリ再ニ降雨トナリ道路ハ愈々泥濘化シ人馬相次テ轉倒ス
山地ノ急坂ヲ攀登シ或ハ下降シ行進遲タシテ意ノ如ク進捗セズ

宇振部隊及竹田山砲大隊ハ一六三〇頃分水界附近ニ到着セリ

杉田部隊ハ一七〇〇頃進馬江ニ進出セルヲ進馬江一清山界道南側高地ニテ連
ノ敵陣地ヲ占領シアリシヲ以テ直ニ該敵ヲ攻撃一八〇〇頃之ヲ四方ニ撃退セリ
主力又一六〇〇頃大沙江南方地區ニ進出セルヲ大沙江北方高地ニテ連ノ敵陣地ヲ占領
シアリテ我前進ヲ阻止スルヲ以テ直ニ第四中隊及第十中隊ヲシテ之ヲ撃攘セシメタリ
二十一日夜聯隊長ハ至嚴ナル警戒ノ下進馬江一六沙江附近ニ大休止シ明拂曉ノ龍
潭司ニ向テ突進ヲ準備セシトシ龍潭命令甲第四十八號ヲ下達ス

龍潭命令甲第四十八號

龍 部隊 命令

四月二十一日一九三〇
大沙江南側無名部落

一大沙江附近ニハ若干ノ敵在リテ我前進ヲ妨害シアリ

二部隊ハ本夜至嚴ナル警戒ノ下進馬江一六沙江附近ニ大休止シ明早朝ノ龍潭司

ニ突進ヲ準備セシトス

三各部隊ハ概ネ別紙要圖ノ位置ニ大休止シ爾後ノ前進ヲ準備スベシ

四 宇提部隊ハ一部ヲ以テ杉田部隊ノ分水界確保部隊ト交代セシムト共又一部

ヲ以テ大沙江西側高地ヲ確保シ部隊通過ヲ掩護セシムベシ

該部隊ハ部隊通過後陣地ヲ撤去シ主力ニ追及セシムベシ

五杉田部隊ハ一部ヲ清山界附近ニ先遣シ該地確保部隊ト連絡セシムベシ

六第四中隊(第十中隊ノ一分隊^{附屬})ハ大沙江附近要點ヲ確保シ部隊ノ通過ヲ掩

護シタル後主力ニ追及スベシ

七第十中隊長ハ一分隊ヲ第四中隊長ノ指揮ニ入ラシメ主力ハ原所屬ニ復歸スベシ

八聯隊機關銃小隊長ハ一分隊ヲ第四中隊長ノ指揮下ニ入ラシムベシ

九盛野部隊ハ砲一門ヲ以テ分水界附近ニ陣地ヲ占領セシメ部隊通過ヲ掩護セシ

ムベシ

該部隊撤去ニ當リテハ第五梯隊ト密ニ協定シ主力ニ追及セシムベシ

十通信中隊長ハ部隊本部ト杉田・宇提部隊間ニ無線通信網ヲ構成スベシ

十一各部隊ハ特ニ警戒ヲ嚴シシ萬進退ナキヲ期スベシ

十二予ハ大沙江南側無名部落ニ在リ

龍 部隊 長

下達法 命令受領者ヲ捺メ口達筆記後印刷交付

配布區分D 部下指揮下部隊

二十一日夜杉田部隊へ進馬江附近ニ宇提部隊及山砲隊大隊ハ分水界附近ニ聯隊本部獨ニ山砲主力ハ大沙江附近ニ於テ夜ヲ徹シ明二十二日ノ突進ヲ準備ス

第三第四等三各機隊ハ降雨ト道路不良ヲ爲行進遲滞シタリ

明二十二日ノ突進ニ關シ聯隊長ハ二三〇更ニ龍作命申第四十九號其ノ一ヲ下達シ杉田宇提兩大隊長ニ對シテハ電報ヲ以テ傳達セシム

當時空界ノ狀況不良ニシテ交信困難ナル狀況ニアリシモ無電班ヨリ何等コノ告報告ヲ以テ聯隊長ハ傳達セシモノト誤認シアリタリ

龍作命甲第四十九號 其ノ一

龍 部隊命令

四月二十二日二二三〇
大沙江兩側無電班ヨリ

一 隆廻司―土嶺界―進馬江道ニ陣地ヲ占領シ頑強ナル抵抗ヲシタル等ヲ九師等五十五團ノ部ニ十七日以來龍津司方向ニ逐次退却セリ

又龍津司東方主洞附近ニ要點ヲ確保シ部隊主力ノ龍津司ヘ進出掩護ニ任ジタル飯島部隊ハ十七日以來ノ山門方面ヨリノ増援ノタメ北上セル等五十一師

ノ一團ト交戦中ナリ

又龍津司ニ第六十三師ノ一團アルモノ如シ

二 部隊ハ二十二日早朝現在地附近出發分道ニ上テ所在ノ敵ヲ撃破シツツ先ツ一四五〇高地南北ノ線ニ向ヒ前進シタル後爾後ノ龍津司附近ノ敵攻撃ヲ準備セントス

三 杉田部隊ハ先遣隊トナリ〇四〇〇進馬江出發所在ノ敵ヲ撃破シツツ分道ニ上テ景

興橋ニ向ヒ前進スベシ

四 宇提部隊(如IP)ノ配屬ヲ解クハ前衛トナリ〇六〇〇分水界ニ出發先遣隊ノ進

路ヲ前進スベシ

五 第七中隊ヲ予備隊トス

六 爾余ノ諸隊ハ本隊トナリ左記行軍序列ヲ以テ前進スベシ

出發ノ時機ニ關シテハ適宜前方機隊ト連絡ノ上協定スベシ

左 記

第一機隊

池野小隊
RMT 〇(甲) 7 IITL TA IP 4P 80 〇(乙) 1/5

第二梯隊 第三第四第五梯隊

ニ于、〇七〇〇 現在地出發本隊ノ先頭ヲ前進ス

龍 部隊長

下達法 命令受領者ヲ集メ口達筆記後印刷交付

配布區分 〇 龍ヲ指揮下各部隊

ニ于ニ聯隊長ハ〇七〇〇現在地出發命令水界ニ前進スルヲ向テ隊長ヨリ嚴密ノ行動
ニシテ指示アリシヤヒキシヤニ龍ヲ命令申第百四十九號其ノ一ノ傳達ヨリ非ナルヲ知リ
直ニ龍ヲ命令申第百四十九號其ノ二ヲ下達ス

龍ヲ命令申第百四十九號其ノ二

龍 部隊命令

四月二十二日〇七二〇
分水界

一 敵情龍ヲ命令申第百四十九號其ノ一ノ如シ

ニ 宇提部隊ハ先遣隊トナリ〇七三〇分水界出發所在ノ敵ヲ撃破シツル迄道上
ヲ景興橋ニ向テ前進スベシ

ニ 杉田部隊ハ第一梯隊ノ後方ヲ前進スベシ

四 爾余ノ諸隊ハ龍ヲ命令申第百四十九號其ノ二依リ夫々行動スベシ

龍 部隊長

下達法 〇 龍長ニ要言ニ達後命令受領者ヲ集メ口達筆記シタル後印刷交付

配布區分 〇 龍ヲ指揮下各部隊

部隊ハ第四〇一隊(龍ヲ配屬)ヲシテ大沙江附近至急ニ確保シ後續部隊ノ通
過ヲ掩護セシメ宇提部隊(宇提ノ配屬)解テ第一中隊ニテ復歸セシムルニ先
遣隊ニシテハ〇八〇〇分水界出發爾余ノ諸隊ハ依然第一梯隊(龍ヲ配屬)ニシテ
〇八二〇分水界ニ至リ杉田部隊ハ第二第三第四第五梯隊ノ行軍序列ヲ以
テ龍ヲ命令申第百四十九號其ノ二依リ夫々行動スベシ

第三 〇 第五梯隊ハ敵馬多數ヲ擁ニシテ行軍途端ニ續行シムル

一三〇〇頃部隊ハ三梯隊ノ先頭ヲ以テ清水界ヲ經テ一壘ニ景興橋ニ突進シ

茲ニ敵馬部隊ト連絡ヲ同部隊(第五中隊)ヲ以テ大沙江合流ニ至リ分屬

ヲ掩護ス

十九日ニ于ニ〇七二〇分水界上(龍ヲ配屬) 龍ヲ命令申第百四十九號其ノ二依リ夫々行動スベシノ戰況經過概

22日
1430

要別紙要圖第一ノ如シ

當時飯島部隊ハ主力ヲ以テ主洞東南側高地ヨリ紅岩三巨ル高地ヲ一部ヲ以テ
一四三〇高地(主洞東北方約八折)ヲ確保シテリ

敵第三十師ノ主力ハ十八日以来飯島部隊ノ陣地ニ夜攻中ニシテ二十二日正午頃
部隊主力景興橋附近進出時ニ敵ハ小貴沙西側高地ヨリ紅岩南側高地ニ展
開重兵ヲ紅岩三面ニ指向シ我ヲ攻撃中ナリシニ我部隊主力ノ進出ニ伴ヒ逐次主
洞ニ龍潭司道以南ノ既設陣地ニ後退シツツリタリ尚主洞ニ龍潭司以北ノ
山地線ニ敵ノ堅固ナル既設陣地ハ見ラレサル情況ナリキ

部隊主力龍潭司東方地區進出時ニ於テ敵情別紙要圖第二ノ如シ
茲ニ於テ聯隊長ハ先ツ主洞東北側山地線ノ敵ヲ席捲シ遠ニ塩井山(龍潭司東
東南約四折)―貴水園(龍潭司西南約六折)ニ巨ル山地線ニ進出シ飯島部隊正
面ノ敵ヲ掃蕩撃滅セシ決心シ一四三〇龍潭司第五十號ヲ下達ス
龍潭司第五十號

龍 部隊命令

四月二十二日 一四三〇
景興橋

一飯島部隊ハ主力ヲ以テ主洞東南側高地ヨリ紅岩三巨ル高地ニ一部ヲ以テ一四五〇
高地ヲ確保シテ一師ノ主力ヲ戰闘中ニシテ敵ハ小貴沙西側高地ヨリ紅岩南側高
地ニ展開重兵ヲ紅岩ニ指向シ我ヲ攻撃中ナリ

二部隊ハ先ツ主洞東北側高地ノ敵ヲ撃破シ遠ニ龍潭司東南方塩井山―貴水
園ニ巨ル山地線ニ進出シ飯島部隊正面ノ敵ヲ掃蕩撃滅セシトス

初期半龍部隊ニ屬後杉田部隊ニ重兵ヲ指向ス

三半龍部隊ハ先ツ主洞東北側高地ニ敵ヲ撃破シ塩井山―興隆山ノ線ニ退ニ進出シ
小貴沙附近ノ敵ヲ掃蕩撃滅セシ

四杉田部隊(新三折一分隊)ハ半龍部隊ニ進出シ其後龍潭司西方仙峯嶺ニ向
ニ前進(前後一師)三角地附近ニ重兵ヲ確保セシ其ノ(半龍部隊)進出ニ伴ヒ
五西部部隊ノ戰闘地境

主洞西北方三折開鎮西側高地―龍潭司―鹽井山ノ線ニ進出シ

六飯島部隊ハ半龍部隊ノ戰闘進出ニ伴ヒ隨時進出シ敵ヲ攻撃ス

七盛野部隊ハ半龍部隊ノ主洞東北側高地を敵ト共ニ先ツ主洞西北側ニ折開鎮

由線高地ニ進出シテ宇提部隊主洞附近ニ敵攻撃ニ協力シタル後龍潭司西方
高地ニ進出龍潭司東北各地ヨリ進出ヲ豫想スル敵射撃ヲ準備スベシ
尙又兩部隊ノ戦闘ニ協力スベシ

八攻撃前進ノ時機ハ宇提部隊ハ一五〇〇杉田部隊ハ一七〇〇ト予定ス
九第七中隊ヲ原所屬ニ復歸セシム

十第五中隊ヲ爾今予備隊トス

十一速射砲中隊長ハ平射一分ヲ杉田部隊長ノ指揮ニ入ラシムベシ

十二予ハ景興橋東側台地ニ在リ

龍 部隊長

下達法 要旨電報命令受領者ヨリ景興橋東側台地ニ達案記後印刷交付

配布區分 D 線下指揮下各部隊

宇提部隊ハ先ツ主洞東北側高地ノ敵ヲ撃破シ塩井山與隆山ノ線ニ速ニ進
出小貴沙附近ノ敵ヲ捕獲撃滅スベク一五三〇頃急坂ヲ攀チ景興橋西北側高
地上ニ展開攻撃ヲ準備セシモ濃霧ノ爲咫尺ヲ越ス敵ト相對峙セルマデ攻撃ヲ
準備ス

準備ス

杉田部隊(茅五中隊ヲ復歸セシメ茅五中隊ヲ聯隊予備トス尙新ニ平射一分ヲ屬ス)ハ
宇提部隊ノ進出ト共ニ速ニ龍潭司西方仙峯嶺ニ前進スベク景興橋西方高地
ニ於テ攻撃ヲ準備ス

飯島部隊ハ宇提部隊ノ戦闘進捗ニ伴ヒ隨時出撃ヲ敢行シノ準備ヲナス

主洞北方西方並ニ南方高地線ノ敵ハ銳意陣地構築中ナルモノヲ如シ

聯隊長ハ明拂曉(密偵報ルル)ト共ニ(齊)ニ前進セシムベク一八〇〇更ニ龍作命令甲茅五
十一號ヲ下達ス

龍作命令甲茅五十一號

龍 部隊命令

四月十一日一八〇〇
景興橋

一主洞北方西方並ニ南方高地線ニ敵ハ目下銳意陣地構築中ナルモノヲ如シ
路ロニ於テ我々主力ノ進出ヲ阻止セシム企圖シテ

宇提部隊ハ一八三〇頃ヨリ攻撃前進ヲ開始シ主洞東北側高地ヲ奪取ス

二部隊主力ハ概ネ現在地附近ニ於テ大休息シ明拂曉ノ前進ヲ準備シタス

三各隊ハ別紙要圖ノ如ク大休止シ明拂曉ノ前進ヲ準備スベシ

細部ニ關シテハ福井中尉ヲシテ指示セシム

四池野ノ小隊ハ一分隊ヲ以テ一四五〇高地南側要點ヲ確保スベシ

五通信中隊ハ中提部隊一部隊本部飯島部隊一部隊本部間ノ有線

通信網ヲ構成スルト六各部隊間ノ無線連絡ニ任ズベシ

六予ハ景興橋ニ在リ

龍 部隊 長

下達法 命令受領者ヲ各人口達事記後印刷交付

配布區分 〇 練下指揮下各部隊

池野小隊ノ一分隊ハ二二日夕景興橋附近ヲ出發一四五〇高地南側要點ヲ確保ス

一方後續部隊方面ニ於テハ二二日來敵ノ追屬愈且執拗ニシテ二二日大沙江附

近ニ於テ部隊ノ通過掩護ニ任テアリシ第四中隊(一小隊)第十中隊ノ一分隊(一

二村)追撃砲機關銃四有ル有力ナル敵來攻シ衛生隊野戰病院並ニ第五

梯隊共ニ激戰中ナリト報ニ接シ聯隊長ハ一部兵カヲ分水界ニ急進セシメ之ヲ

急援セシムベク二三〇〇龍作命令日五五十二號ヲ下達ス

龍作命令日五五十二號

龍 部隊 命令

四月二十二日二三〇〇
景興橋

一追撃砲機關銃四有ル敵ハ部隊ニ遠尾シテリテ大沙江附近ニ於テ部隊ノ

通過掩護ニ任シリシ第四中隊主力並ニ第十中隊ノ一部對シ攻撃シテ手榴

彈戰々交ヘ苦戰シツツルモ如シ

二部隊ハ一部兵カヲ分水界ニ急進セシメ衛生隊第五梯隊並ニ要點確保部隊

ヲ救援セントス

三第五中隊ハ遠ニ現在地出發先ツ分水界ニ到リ要點ヲ占領確保スルト共ニ馬

シ得ルハ第五梯隊長ニ連絡ヲ取リ爾後杉田大尉ノ指揮ニ入ルベシ

四杉田部隊長ハ步兵二中及機關銃一小ヲ指揮シ速ニ分水界ニ到リ第五中隊ヲ

件々指揮シ附近要點ヲ確保シ後方部隊ノ收容ニ任ズベシ

五予ハ景興橋ニ在リ

寵部隊長

下達法 警自電話通知後命令受領者ヲ案名達筆記後印刷交付

既而區分口訣下指揮下各部隊

聯隊ヲ備アリシ第五中隊ハ二十日夜生ノ京興橋附近出發分水界ニ到リ要點ヲ
占領シ後續部隊ノ救援ニ付又杉田大隊長ハ第七第八中隊及機關銃一小ヲ
指揮シ二十三日早朝急ニ興橋出發分水界ニ到リ第七中隊ヲ俟セ指揮シ附近要
點ヲ確保シ後方部隊ノ收容ニ任ゼリ
出發ニ先ニテ龍作命令第五十三號ニ依リ配屬山ノ山砲第一大隊(冬中)ヲ原所
屬ニ復歸セシニ

龍作分日字五十三號

瀛部家命令

景興橋

一敵情瀧作命日第五〇號、二瀧作命日第五十二號、如シ

二部略ノ企圖總作命甲第五ノ號並ニ龍作命甲第五十二號ノ如シ

三杉田部隊長、現ニ敵屬ニシテ山砲隊大隊長(欠中)ヲ原所屬ニ復歸セシムヘシ

四 予景興橋ニ在リ

龍部隊長

下達
關係各隊
重要電話
命令受領者
集口達
軍部後印刷

配光部分 ① 指示指揮下各部隊

聯隊長ハ、三河所要ノ指揮機關ヲ隨ヘ三洞惠爾側高地ノ飯島部隊陣地ニ到リ該方面敵情地形ヲ偵察シ且戰鬪ヲ指導ス

主洞南北高地ノ敵ハ益々陣地ヲ増強シツアリ

聯隊長、部決心變更ノ龍濟司方面ノ敵ヲテ第三洞開北高地ノ敵ヲ

同日西端三岳出雲後ノ攻撃ニ依リハク一二三一三〇龍作命

田部五曲號，下達入

龍作命年五十四歲

龍部隊命令

四月二十一日 三〇〇
小黃沙東北側高坡

一敵全洞東北高地及西側閉鎖曲線高地二陣地ヲ占領スル

宇提部隊ハ本朝不主洞北側高地ノ敵ヲ攻撃中ニ先モ狀況詳ニ示ス

二部隊ハ主洞南北台地ノ敵ヲ攻撃シ先ツ同高地西端ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ準備セシトス

三宇提部隊ハ主洞北側高地ノ敵ヲ攻撃シ或シテ同高地西端ニ進出シ爾後ノ攻撃ヲ準備スベシ

四飯島部隊(配屬)ハ宇提部隊ノ攻撃ニ連繫シ主洞南側高地ノ敵ヲ攻撃シ同高地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備スベシ

五兩部隊ノ戦闘地境

主洞―龍潭司道

六盛野部隊ハ當初主力ヲ以テ宇提部隊ノ攻撃ニ爾後一部ヲ以テ飯島部隊ノ攻撃ニ協同スベシ

七攻撃開始ノ時機ハ二五〇〇トス

八二兵小隊ハ盛野部隊主力ノ陣地進入ヲ援助スベシ

九作業小隊長ハ宇提部隊協同砲兵ノ陣地進入ヲ援助スベシ

十杉田部隊配屬龍潭砲一八ノ配屬ヲ解フ

依前該隊ハ速ニ飯島部隊位置ニ至リ飯島部隊長ノ指揮ニ入ルベシ

十一第六中隊ヲ予備隊トス

十二爾余ノ諸隊ハ現集結地附近ニ在リテ爾後ノ前進ヲ準備スベシ

十三予ハ戦闘進捗ニ伴ヒ主洞北側閉鎖曲線高地ニ前進ス

龍 部 隊 長

下達法 五長ニ電話工長口達地ハ連絡有テ其ノ口達書記印付ス

配布區分 〇總ヲ指揮下各部隊

宇提部隊ハ龍作命申第五〇號ニヨリ二十三日〇五〇〇景興橋西側高地ニ展開濃霧ヲ利シ攻撃ヲ開始シ〇九三〇大黃沙西北側高地ノ敵ヲ撃破引續キ一三〇〇ソノ北方約一軒附近ノ敵陣地ヲ占領セシモ一二〇〇頃ヨリ霧晴レシニ從ヒ主洞南北側高地及双江口南方二軒閉鎖曲線高地(松山高地)ヨリノ敵ノ抵抗逐次頑強トナリ前進困難トナルヲ以テ一先ツ占領セル高地ヲ確保シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス

聯隊長ハ二十三日午後宇提部隊方面ノ戦闘ヲ指導ス

飯島部隊(配屬)ハ宇提部隊ノ攻撃ニ連繫シ主洞南側高地ノ敵ヲ攻撃スベシ

二十三日一六三。紅岩^モ西方高地附近ヨリ攻撃ヲ開始シ第三中隊ノ壯烈ナル夜襲ニヨリ
二三〇〇頃主洞南側高地(小黃沙西側高地)ヲ占領確保セシモ小黃沙河ノ南岸
側閉鎖曲線高地ノ攻撃ニ前進セル第一中隊ノ狀況不明ナリ

獨之山砲ハ二十三日部隊ノ攻撃ニ力ヲ以テ宇提部隊ノ攻撃ニ爾後一部ヲ以
テ飯島部隊ノ攻撃ニ急ニ協同セリ

杉田部隊ニ配屬中ノ部隊ヲ新ニ飯島部隊長ノ指揮ニ入ラシム

二十三日二〇〇。龍作命令第五十四號其ノ二ヨリ第六中隊ハ宇提部隊長ノ指
揮ニ入リ

龍作命令第五十四號其ノ二

龍 部隊 命令

四月二十三日二〇〇〇
景興橋

一第六中隊ハ爾今宇提部隊長ノ指揮ニ入ルベシ

二第三景興橋部隊本部ニ在リ

龍 部隊長

下達法 命令受領者ヲ案メテ達筆記後印刷交付

配布區分 D 隸下指揮下各部隊

二十一、二日ハ惡天候ノ爲敵機飛來セズ

二十三日一五〇〇—一八〇〇ノ間P40延々機襲主洞ニテ飯島部隊陣地(主洞東南
側高地)ヲ銃爆撃セリ

一四五〇高地確保ニ任シテ第四中隊ノ八木澤小隊ハ二十三日正午頃下山シ飯島
部隊ニ復歸ス

龍澤司方面ノ敵ハ銳意陣地ヲ構築中ニシテ塩井山興隆山主洞西側高地双
江口南方ニ新高地(松山高地)及ソノ南方閉鎖曲線高地佛前山ハ配兵ヲ見該
高地陣地設備ハ概成セルモノナリ

一方後方ニ於テハ依然有カレ敵後續部隊ニ追尾シテ第十二中隊(柏木隊)ハ
執拗ナル該敵ノ妨害ヲ排撃シテ本隊ニ追及シツツアリナリ

聯隊長ハ後方部隊トノ連絡ヲ確保スルニ夫ニ部隊追尾ノ敵ノ動向ヲ詳細ニ
偵知セントシ二十四日〇九〇〇。龍作命令第五十五號ヲ下達シ 通信中隊 ヲシテ
景興橋—清上界ニ有線通信網ヲ構築シ清上界ニ於テ第十二隊トノ連

絡ヲ確保セシム

又二四五〇高地南側 要點確保シアリシ池野小隊ヲシテ該地ヲ撤去シ主力ヲ以テ
一四五〇高地ヲ占領確保セシム

龍部隊命令第三十五號

龍部隊命令

二月二四日〇九〇〇
栗 橋

一 約一連ノ敵執拗ニ我後方部隊ニ追尾シアリテ 柵木隊ハ該敵ヲ排撃シテ
本隊ニ追及シツアルモ 狀況困難ニシテ連絡四滑ナラス

二 部隊ハ後方部隊ノ連絡ヲ確保スル共ニ部隊追尾ノ敵ノ動向ヲ偵知セントス
三 通信中隊長ハ現在地一清山界ニ有線通信網ヲ構成シ清山界ニ於テ柵木
隊ト連絡ヲ確保スベシ

四 池野小隊ハ二四五〇高地南側分哨ヲ撤去シ小隊主力ヲ以テ二四五〇高地ヲ確保
スベシ

五 松本曹長ハ部下三名ニテ二四五〇高地東側ヲ通過シ二四五〇高地附近ヨリ葛竹
坪方面ノ敵ノ動向ニキ偵知スベシ

六 立花重曹ハ松本曹長ト共ニ前項敵情偵知ニ努ムベシ
七 予ハ飯島部隊本部高地附近山砲觀測所ニ在リ

龍部隊長

下達法 命令受領書ヲ案ノ口達筆記後印刷文付

配布區分 〇 線ヲ指揮下各部隊

松本ヲ候ハ二四日〇九三〇栗與橋附近ニ發傳前山東麓ヲ經テ葛竹坪附近
敵情ヲ偵察シ一八二〇歸還價值ノ報告ヲ公報セリ

二四日三二〇師團ヨリ立花重曹ニ電報ヲ受領ス

龍部隊命令第三十四號

一 敵第二十四集團軍ハ逐次配備ノ重點ヲ北方ニ轉移シテ

二 部隊ハ先ツ龍軍司令部附近ノ敵ヲ排撃滅亡トシテ敵主力ヲ軍公路以北ノ

江ノ流注ノ水邊ニ集結セシム

三 龍軍司令部ハ重要ヲ占據シ龍軍司令部附近ノ敵ヲ排撃滅亡トシテ敵後
方ヨリ以テ白石橋(龍軍司令部西方ノ第一哨所)ヲ經テ新橋(永平)安江(

重慶支隊

北々東九折)方向ニ向テスル前進ヲ準備スベシ

加川部隊ハ一部(歩兵二大隊半砲一中隊)ヲ以テ望郷山附近ヲ經テ黃沙洞方向ニ突進敵ノ背後ヲ攻撃セシムルト共ニ主力ヲ以テ先ヅ江口附近ニ突進セシム同部隊山門附近出發ハ二十四日一〇〇〇頃ト予定ス

三貴部隊ノ健闘ヲ祝ス

尚右兵團ノ重慶支隊主力ハ二十二日〇八四五北中(巨口嶺北約十六折)附近ヲ突進中ナルモ前進ハ予定ヨリ甚シク遲滞シテリ

右情況ニ鑑ミ聯隊長ハ速ニ龍潭司附近ノ敵ヲ撃滅セシトシ一八〇〇龍作命甲第五十六號ヲ下達ス

龍作命甲第五十六號 (龍作命甲第三十一號)

龍 部隊命令

四月二十四日一八〇〇
主洞東北側高地

一敵第二十四集團軍ハ逐次配備ノ重点ヲ北方ニ轉移シテリ

部隊當面ノ敵ハ今尚頑強ニ抵抗ヲ持續シテリ

又約一營ノ敵ハ執拗ニ我ニ追尾シテリ

重慶支隊ハ二十二日北中(巨口嶺北約十六折)附近ヲ突進中ナリ

兵團ハ先ヅ龍潭司附近ノ敵ヲ捕提撃滅スルト共ニ敵主力ヲ軍公路以北沅江以東ニ撃滅ス

加川部隊ハ二十四日一〇〇〇山門附近出發一部ヲ以テ望郷山附近ヲ經テ黃沙洞ニ突進敵ノ背後ヲ攻撃スルト共ニ主力ヲ以テ先ヅ江口附近ニ突進ス

二部隊ハ一部ヲ以テ清山界佛前山主洞南方高地附近要點ヲ確保スルト共ニ夜ニ入ルモ依然攻撃ヲ續行シ松山三角山主洞南側高地ニ進出シ明朝ヨリノ攻撃ヲ準備セントス

三飯島部隊ハ主力ヲ以テ主洞南側高地ヲ確保シ部隊ノ左側背ヲ掩護スルト共ニ一部(一中)ヲ以テ今夜主洞附近殘敵ヲ新込掃蕩セシメタル後明朝該地附近ニ於テ予ノ直轄ヲラシムベシ

四宇梶部隊ハ夜ニ入ルモ攻撃ヲ續行シ松山三角山高地線ニ進出該地附近及佛前山附近要點ヲ確保シ部隊ノ右側背ヲ掩護スルト共ニ明朝中第一線トナリ本道北側ニ沿フ地區ノ敵攻撃ヲ準備スベシ

明朝第六中隊ノ配屬ヲ解キテ直轄トス

五杉田部隊(TA中隊屬)ハ本夜主洞東北側地區ニ集結シ明朝松山附近ニ展開右

第一線トナリ本道以北ノ敵攻撃ヲ準備スベシ

六第十中隊ハ清山界附近要點ヲ確保シ部隊ノ背後ヲ掩護スベシ

七第五中隊ハ明朝原所屬ニ復歸スベシ

八盛野部隊(工兵小屬)ハ依然現任任務ヲ續行スルトテ明朝以降主力ヲ以テ杉田部

隊ノ戦闘ヲ協同シ得ル如ク準備スベシ

九速射砲中隊ハ杉田部隊長ノ指揮下ニ入ルベシ

十工兵小隊ハ盛野部隊長ノ指揮下ニ入ルベシ

十一爾余ノ諸隊ハ現在地附近ニ在リテ現任任務ヲ續行スベシ

十二予ハ現在地ニ在リ明朝「ナマコ」山ニ前進ス

龍 部隊長

下達法 II Ⅲ長ニ要旨ヲ達シ工電話 命令受領者ヲ無名達至記夜印刷交付

配布区分 D 線下指揮下各部隊

三〇日攻撃前進ヲ開始シ第十中隊及第六中隊ノ一小ヲ以テ一九〇〇頃主洞北側

高地ノ敵陣地ヲ奪取シ一方双江口南方約二軒高地(松山高地)ヲ攻撃セシ第九

中隊ハ側方(北方)ヨリ敵約一〇〇名ノ攻撃ヲ受ケ企圖ヲ妨害スルヲ以テ松山高

地ヲ夜襲セシ福井中尉指揮下ニ十三日〇三〇ノ攻撃ヲ進シ壯烈ナル自兵戦

ヲ演シ六四〇遠ニ松山高地ヲ占領セシモ七〇〇頃ヨリ敵約二百名ノ反復スル執拗

ナル逆襲ヲ受ケ九〇〇其ノ大部戦死傷シ再ニ敵ノ反復奪取セシルニ到ル

其ノ後卒提部隊ハ再ニ松山高地ノ奪回ヲ企圖セシ戰死ノ數甚多ニ至リ又

又主洞北側高地ノ敵陣地ニ對シニ二十四日薄暮ヨリ夜襲ヲ約三百ノ敵反復執

拗ニ逆襲シ果シテ悉ク之ヲ撃退セシ

一方後方ニ在リテハ火沙江附近確保部隊ノ第十中隊(小八)第十中隊ノ一分隊

一分隊)及第十中隊(相模隊)ノ力關連ニ至リテ早朝急遽反轉シ増援ヲ赴

キタル杉田部隊ノ進出ヨリ逆尾攻撃ヲ遂ゲシ敵ハ勢退き後續部隊ハ二

十四日正午頃迄清山界附近ノ地區ニ集結ヲ完了シ第十中隊ハ清山界附近

ニ展開シ

12

要點ヲ確保シ部隊背後ノ掩護ニ任ズ

又第四中隊(小久)約二一分ハ二十四日正午頃主洞東南側高地ニ到リ夫々原所屬ニ復歸セリ

杉田部隊(TA中隊屬)ハ二十四日正午ヲ以テ後續部隊收容ノ任ヲ完了シ同夜大黃沙ニ進及集結ス

飯島部隊ニ在リテハ小黃沙西側高地北端ノ敵陣地ニ對シ二十四日第三中隊ノ一
小隊ヲ以テ攻撃シ一七〇五之ヲ占領セリ 第一中隊ハ小黃沙沙ノ字南側高地ノ
敵陣地ニ對シ攻撃 セシモ頑強ニ抵抗シ今尙八合目附近ニ於テ攻撃續行中
ナリ又第四中隊(小久)ハ小黃沙東側高地ノ敵陣地ヲ攻續シ一四二〇之ヲ占領セリ
サレド主洞東南側高地ノ北端ハ敵之ヲ占領シ敵空地連絡ノ基地ニナリアルモノ
如ク第二中隊ノ一分ヲ以テ山砲協同ノ二十四日薄暮之ヲ攻撃スルモ奪取ムルニ
至ラズ

二十四日正午頃迄ニ逐次景興橋附近ニ集結ヲ完了セル第二野戰病院及衛生隊
ハ本教洞ニ至リ該地附近ニ療養所ヲ開設シ患者ノ收療ニ努メアリ 又行李部

隊ハ大黃沙附近ニ位置セシム

二十四日以來我部隊主力ノ進出ヲ察知セル敵機ノ行動ハ逐次活潑化シ P40 延ハ
機來襲シ二〇〇一ハノノ間主洞北側高地ノ我陣地ヲ銳爆撃セルモ我損害ナシ
敵第三中隊ハ佛前山附近ヨリ松山高地及同南方ニ并進鎮西線高地塩井山
附近高地ヲ經テ黃沙洞南側高地ニ至リ陣地ヲ占領シノ後方龍潭司南北山地線
ヲ以テ堅固ニ占領シアリテ頑強ニ抵抗シタリ陣地設備モ逐次補強セラレ陣地要點
ニハ鹿岩ト一々カ望見ミラルニ至レリ

聯隊長ハ二十四日夜杉田部隊ハ水界ヲ追及セルヲ以テ同部隊主力ヲ以テ本道以
北ノ敵陣地ヲ攻略シ山峯(龍潭司西北方約三軒)附近ニ一師ヲ以テ塩井山北側
高地ニ進出爾後加川部隊(小久)ハ進出ニ應ジ敵ヲ龍潭司南方地區ニ捕捉撃
滅セントシ二二〇龍潭司甲第五十七號ノ下達ス

龍潭司甲第五十七號

龍 部隊命令

一當面ノ敵ハ依然頑強ニ抵抗シタリ

五月二十四日二二〇〇
主洞東北側高地

ニ部隊ハ主力ヲ以テ松山三角山ノ線ニ展開シ本道以北ノ敵ヲ攻撃先ノ三角山
東側高地一岩湾北側高地ノ線ニ一部ヲ以テ塩井山北側高地ニ進出爾後加川
部隊ノ進出ト呼應シ敵ヲ龍潭司南方地區ニ捕捉撃滅セントス
重点ヲ右第一線正面ニ指向ス

三杉田部隊ハ松山附近ニ展開シ右第一線トナリ本道以北ノ敵ヲ攻撃三角山東
側高地ニ進出スベシ

尙戦闘ノ進捗ニ伴ヒ一部ヲ以テ要點ヲ確保シ敵ノ攻撃ニ對シ警戒スベシ

四宇提部隊ハ一部ヲ以テ現任務ヲ續行スルト共ニ主力ヲ以テ黄面山ニ展開 中第一線
トナリ本道北側ノ敵ヲ攻撃岩湾北側高地ニ進出スベシ

五飯島部隊ハ一部ヲ以テ現任務ヲ續行スルト共ニ主力ヲ以テ現在地附近ニ展開左第一
線トナリ本道南側ノ敵ヲ攻撃先ノ塩井山北側ノ線ニ進出スベシ
ハ第一線部隊ノ戦闘地境左ノ如シ

右第一線 中第一線間

松山 三角山 戦闘部 一岩湾北ノ新一岩湾西北側高地

中第一線 左第一線間

三洞一岩湾

七盛野部隊ハ一部ヲ以テ左第一線ニ主力ヲ以テ本道以北ヲ右第一線ノ戦闘ニ協
同スベシ

ハ攻撃前進時機ハ二〇〇〇ミ定ムルヲ別命ス

九飯島部隊ハ一及作隊ハ隊ハ三備隊ニシテ三洞東北側高地ニ集結スベシ

十道尾中隊ハ現任務ヲ續行シ六二加川部隊ハ連絡確保ニ努ムベシ

十一福合ノ諸隊ハ現在地附近ニ駐ルヲ現任務ヲ續行スベシ

前進ニ備ヘテ別命ス

十二予ハ二〇〇〇ミ定ムルヲ別命ス

龍 部隊長

下達法 正長ニ達命令受領者ノ署名口達筆記後印付ス

配布区分 一線下指揮一各部隊

杉田部隊ハ右第一線トナリ二二五〇一〇〇頃松山高地（双江口南方約二新開嶺由

線高地(ニ辰間スヘク前進セルモ既ニ敵ノ爲奪取セラレアリクルヲ以テソノ東方地區ニ展
開セシメシモ北方ヨリ約一ヶ排(六ニ四)ノ攻撃ヲ受テ又數機ノ執拗ナル銃爆撃ニ展
開意ノ如ク進歩スル依ツテ主洞北方ニ對附近高地ヲ占領シ爾後ノ攻撃ヲ準備ス
宇施部隊(第百中隊ノ一部ヲ解クハ主洞北側高地ニ於テ中第一線トナリ松山高地
南方ニ對高地ノ敵陣地ニ對シ攻撃ヲ準備セルモ一〇〇頃ヨリ約一〇〇ノ敵迫撃砲ノ
集中火ト共ニ逆襲シ来リ之ヲ激戦ノ後正午過ヤ漸ク撃退セルモ敵ハ我陣附近ニ
止リ三近距離ニ相對峙中ナリ (二〇〇頃ヨリ一八〇〇ノ間敵機四四架ニ對シ二十機間
斷ヲノミ襲撃シ主洞北側高地ノ我陣地及山砲觀測陣地ヲ銃爆撃シ晝
間ノ攻撃ハ困難ナル情況トナレリ

飯島部隊方面ニ於テハ一四五ノ迫撃砲ノ射撃ト共ニ約一〇〇ノ敵小黃沙西側高地
ノ第三中隊陣地ニ對シ逆襲シ来ルモ約一時間ニシテ之ヲ撃退セリ
第二中隊ハ一八二ヨリ主洞東南側高地北端ノ敵陣地ニ對シ山砲及大隊砲支援ノ
下攻撃セシモ多數戦死傷シ成功セズ
第一中隊ハ依然小黃沙ノ山南側高地ノ敵陣地ニ對シ攻撃續行中ナルモ山頂

ノ敵ハ頑強ニ抵抗シ意ノ如ク進歩セズ
ニテ二月二十五日ノ三洞附近戰闘經過概要 別紙要圖第三ノ如シ
然レ共連日ノ激戦ニ各大隊共將校ノ多數戦死傷シ下士官兵亦相次テ斃レソノ
白兵戦力ハ

第一中隊	將校以下	二五名
第二	〃	三〇名
第三	〃	三五名
第四	〃	三五名
第一大隊	合計	一二五名
第五中隊	將校以下	七〇名
第六	〃	四三名
第七	〃	七〇名
第八	〃	六一名
第二大隊	合計	二四六名

第九中隊 將校以下 二七名

第十 〃 三六名

第十一 〃 三三名

第十二 〃 五九名

第三大隊 合計 一七五名

トナリ我戦力ノ逐次増進シ加之運搬致スルニ又シ敵益々兵力ヲ増強シ敵機ノ活潑ナル跳梁ニ相呼應シテ又廢軌勅ニ逆襲シ來ル
他方右兵團ノ重慶支隊ハ赤ダ滋漢東方地區ニ於テ敵戦力ニシテ其前進ハ速々トシテ進捗セザル情況ニアリ

以上ノ情況ニ鑑ミ更ニ諸兵攻撃ヲ續行ヒシガ損耗累加シ我戦力ハ愈々低下爾後ノ任務ノ達成困難ナル情況ニ至ルヲ憂ヒ 聯隊長ハ現進出線ヲ確保スルト共ニ先ッ戦線ヲ整理シタル後更ニ龍潭司ニ向テ突進ヲ準備セントシ二二五二一〇。
龍潭司ニ向テ突進ヲ準備セントシ二二五二一〇。
龍潭司ニ向テ突進ヲ準備セントシ二二五二一〇。
龍潭司ニ向テ突進ヲ準備セントシ二二五二一〇。

龍 部隊命令

四月二十五日二一〇。
ナコ山東側一軒家

一敵第五十一師ノ主力ハ依然主洞西方並ニ西南方ニ陣地ヲ構築シ我カ力攻ミ不拘頑強ニ抵抗シ第九中隊ノ果敢ナル夜襲ニ依リ奪取セル松山高地モ猛烈ナル重砲火逆襲ニヨリ苦戦ヲ呈セリ且敵ヨリ三三〇敵ノ銃爆聲ニ呼應シ逆襲モ亦猛烈ニシテ今尚主洞南側高地中復ハ敵重火器ハ我カ隘路ニハ進出ヲ妨害シアリ
二部隊ハ現進出線ヲ確保スルト共ニ戦線ヲ一先ッ整理シタル上龍潭司ニ向テ前進ヲ準備セントス

三飯島部隊(第九中隊屬)ハ小黃沙東側高地線ヲ確保シ戦線ヲ整理シト共ニ明ニ十六日中ニ主洞南側高地中復ハ重火器ヲ撲滅スベシ

四杉田部隊ハ概ネ現在地附近ニ於テ要點ヲ確保シ前面特ニ反江ニ向テ敵情ヲ搜索スルト共ニ爾後ノ前進ヲ準備スベシ

五宇提部隊ハナマ山ノ線ヲ確保シ戦線ヲ整理シ前面ノ敵情ヲ偵知シ終ルルト共ニ龍潭司ニ向テ前進ヲ準備スベシ

六盛野部隊ハ概ネ現在地ニ於テ現任務ヲ續行スルト共ニ飯島部隊ノ主洞西側高

と第六中隊へ飯島師隊長ノ指揮下ニ入ルベシ

八箇會ノ諸隊ハ現任務ヲ續行スベシ

九子六子曰山東劉軒家左

巖部隊長

下達法 要旨電話でシテ核命令受領者ヲ集メ口達筆記後印刷文付

配市運分口
發下各埠

杉田部隊ハ依然主湖北方ニ新高地ヲ確保シ前面特ニ双江口方面ノ敵情ヲ搜索スル
ルト共ニ爾後ノ攻撃ヲ準備中ニシテ宇提部隊又依然主湖北側高地ヲ確保シ爾
後ノ攻撃ヲ準備中ナリ

二十六日

二十六日

1000頃ノ敵機協同ノ追撃砲ノ集中火ヲ六約五〇ノ敵主洞北側陣地ニ
反覆逆襲シタル點ニ在リ

主洞東南側高地北端ノ敵陣地ハ依然敵ノ空地連絡ノ基点ニシテ聯隊長ハ二
十六日夜一部ヲ以テ該陣地ヲ攻路セシメ之ヲ確保スベク一八三〇。龍作命令申第六。

號
下
達
人

龍作會田萬六〇號

一、
部
隊
命
令

比呂三十一六。八三〇
十三山東側一軒家

一部隊堂堂ノ敵ハ終ニ其心款誠ノ執拗トシテ猛健ナリノ文援トシテ依然頑強ニ抵抗シアリ

「文字」 松上六「チ」及機開銳ヲ有る終一ノ通ノ敵ヤコト西側ニ機開銳
及迫撃砲ヲ有る終一ノ管 三洞附近ニ約二三〇ノ敵アリ

飯島師隼正國邊千山附近高地ニ於テ一營ノ敵アリテ洞泉側々砂障地及鉢
巻山麓迄障地ニ今迄千ニ日決闘絶及追撃砲ヲ有スル約一連以上ノ敵又南
高地(小黄沙南側高地)ニ追撃砲ヲ有ル約一連以上ノ敵アリテ我ヲ力攻メ不拘
今尙頑強ニ抵抗シテ

又其ノ南方高地ニ迫撃砲三ヲ有スル敵アリ

加川部隊ノ一部ニテ六日晝頃老六塘（龍潭司東南○新）附近ノ敵ト大戦中
ニシテ龍潭司附近進出二十八日頃ト予定セラル

二部隊ハ本夜一部ヲ以テ主洞東南側高地ノ敵陣地ヲ攻撃シ該地ヲ確保スルト共ニ爾後ノ攻撃ヲ準備セントス

三飯島部隊ハ主力ヲ以テ概ネ現在地ヲ確保スルト共ニ一部ヲ以テ本夜主洞東南側高地側防陣地ヲ攻略シ明夜鉢巻山及虎岩陣地ニ對シテ攻撃ヲ準備スベシ

四宇佐美部隊ハ概ネ現在地附近ヲ確保シ明夜ナマコ山西端陣地ノ攻撃ヲ準備スベシ

五杉田部隊ハ現在地附近ヲ確保シ爾後ノ一文字山ニ對シテ攻撃ヲ準備スベシ

六盛野部隊ハ現任務ヲ續行スルト共ニ一部ヲ以テ飯島部隊ノ攻撃ニ協同スベシ

七爾余ノ諸隊ハ現任務ヲ續行スベシ

ハナハナマコ山東側(軒家)ニ在リ

龍 部隊 長

下達法 ⅡⅢ長ニ要旨口達 エニ要旨電話 命令要領者ヲ案メ口達筆記後印刷券付

配布區分 〇 隷下指揮下各部隊

飯島部隊(新三連中隊ノ配屬)方面ニ在リテハ第六中隊ヲ以テ二十六日二〇〇頃ヨリ主洞東南側高地北端ノ敵陣地ニ對シ夜間肉迫ニ十七日〇五〇頃陣前至近距離ニ

近迫セシモ巧妙ナル空地連絡ニ再ビ敵機飛來シ銃爆整ヲ以テ我攻撃ヲ妨害シ一部隊陣地ニ突入セリ遂ニ不成功ニ終リ

一方後方清山界方面ニ於テハ敵第十九師ハ逐次態勢ヲ整ヘ我後方ヲ脅威セントシ二十六日迫撃砲ヲ有ルル約一營ノ敵我清山界確保部隊(第十二中隊)ニ對シテ米攻中ニシテ再ビミト激戦スルニ到リ 依ッテ聯隊長ハ一部兵力ヲ該方面ニ増強スルニ決シ一九三〇龍作命令甲第六十號ヲ下達シ山砲一小隊(一門)ヲ拒水村ニ配置シ入ラシメ清山界ヲ確保スルト共ニ絶ニ分水界方面ノ敵情偵知ヲ命ジタリ

龍作命令甲第六十號

龍 部隊 命令

四月二十六日一五二〇
ナマコ山東側高地

一清山界東方(軒附近)約二、三〇〇名ノ敵集結シタリ 本二十六日迫撃砲ヲ有ルル約一營ノ敵攻撃シテ米

尚(四五)高地確保部隊ノ報告ニ依ルニ二十五日〇九三〇頃双江口附近ヲ約一營連龍澤司ニ向ニ移動シ又松本介候ノ報告ニ依ルニ葛所坪ヨリ四五〇名宛ノ敵數團トナリ西進シタリ

二部隊ハ一部兵力ヲ清山界確保部隊ニ増強セシトス
三森野部隊長ハ小ヲ速ニ清山界ニ到ラシメ相木中尉ノ指揮ニ入ラシムベシ
四相木中尉ハ山砲一小ヲ岸セ指揮シ現陣地ヲ確保スル共ニ絶へズ分水路方面ノ敵
情ヲ搜索スベシ

五作業小隊長ハ部下十名ヲ以テ第三項ノ護衛並ニ道路補修ニ任セシムベシ
六予ハナヨ山東南側高地ニ在リ

龍 部隊 長

下達法 ⅡⅢ各要旨並ニ工・要旨電話 命令受領者ヲ集メテ達事記後印刷交付
配布区分 口 部下指揮下各部隊

二十六日モ敵機四機ハ〇八〇〇ヨリ一九〇〇ノ間殆んど飛来シ執拗且大
膽ニ銃爆撃ヲ及夜セリ飯島部隊ノ主洞東南側高地ノ陣地附近及宇提部隊
ノ主洞北側高地ノ陣地附近ハ敵機ノ投下セル焼夷彈「ドラム缶」爲樹木鹿若等
焼失シ敵機ハ跳梁ハ山間ニ木霊シ恰モ「スコール」如ク南方戦線ヲ彷彿タラシムル
モノアリ然レテ敵機ハ下晝間ノ行動ハ甚シク制時ヲ受クルモ之ニシテ損害ハ徹底セル

偽装ト迷惑トニ依リ僅少ニ止リタリ

二十六日ニ於ケル主洞附近戦闘經過概要別紙要圖ノ如シ

二十六日捕虜(第五十師第五二團大尉連長)ノ陳述ヨリ敵情別紙要圖第五ノ如シ

ニ十七日清山界確保部隊ノ報告ニ依リ約ニテ連ノ敵清山界附近ヨリ南下セリトノ
報告ヨリ聯隊長ハ一七〇〇ノ龍作命令第六十三號ヲ下達シ松本中尉ヲ木教洞
東ノ二軒附近ニ派遣スルニ大ナル変化ヲ見ズ

龍作命令第六十三號

龍 部隊 命令

四月二十七日一七〇〇
ナヨ山東南側高地

一清山界確保部隊ノ敵ヲ依リハ約ニテ連ノ敵南下シ松本附近ニ進出シ部隊(舊)
地ノ攪乱ヲ企圖シタルヲ如シ

二部隊ハ該敵ノ動向偵知ニ努ムルニテ宿營地ヲ警戒スル至敵ヲシメントス

三松本曹長ハ部下三名ヲ以テ斥候トナリ銀角岩附近ニ於テ敵情ヲ搜索セシクル後
清山界ニ至リ相木隊ニ連絡フトリ二四〇〇迄ニ歸還スベシ

四中山中尉舊本部隊位置シ宿營地ニ於ケル警戒並ニ各隊トノ連絡ニ任ズベシ

五子ハナマコ山東側高地ニ在リ

龍部隊長

下達法 山中尉喜日達關係各電話命令受領者ヲ条メ口達筆記後印刷交付
配布区分 D 隸下指揮下各部隊

二十七日一四〇〇 嵐参電第四九九號ヲ受領ス

嵐参電第四九九號

219

一龍寺部隊ハ主洞附近ニ於テ激戦中ナリ 龍寺部隊情報ニ依リ敵ハ土
嶺界(陸運司西北方九軒)附近ニ第一五師小横境(主洞北方約二十四軒)附近ニ第
六十三師ノ集結ヲ企圖シアルモノノ如シ

黒澤部隊ノ任務ヲ烏谷大隊ニ継承シ同部隊ノ洞口附近進出ハ二十六日夕ト判
断セラル

二部隊ハ先ツ龍潭司附近ノ敵ヲ捕捉殲滅セントス

三加川部隊ハ速ニ江口附近ノ敵陣地ヲ突破シ龍潭司ニ向ヒ突進スベシ 洞口攻略
完了ハ速ニ烏谷部隊ヲ招致掌ヲ握スベシ

四兒王部隊ハ洞口附近ヲ攻略セバ速ニ軍公路ニ沿フ地區ヲ先ツ江口ニ向ヒ前進スベ
シ特ニ步兵一中隊(機關銃一小屬)ヲ以テ洞口附近ノ要點ヲ確保セシムベシ

茲ニ於テ聯隊長ハ一部ヲ以テ速ニ主洞東南側高地北端ノ敵陣地及主洞西方高
地ノ敵陣地ヲ攻略シ主力ヲ以テ概ネ現在地線ヲ確保シ爾後師團主力ノ進出ト
呼應シ龍潭司附近ノ敵ヲ捕捉撃滅セントシ一九〇〇 龍作命甲第六十四號ヲ下
達ス

龍作命甲第六十四號

龍部隊命令

四月二十七日一九〇〇
ナミ山東側高地

一當面ノ敵情龍作命甲第六〇號ノ如シ

昨夜ノ側防陣地ニ對シ攻撃ハ成功セズ依然頑強ニ抵抗スルト共ニ正午頃敵機
ノ密接ナル協同ノ下我々陣地ニ對シ逆襲シ来ル

又清山界確保部隊ノ報告ニ依リハ四〇〇頃約ニテ連ノ敵ハ清山界南方ヲ西
進セリト

兵團ハ先ツ龍潭司附近ノ敵捕捉撃滅ヲ企圖ス

(加川部隊主力ハ江口附近ノ敵陣地ヲ突破シ龍潭司ニ向ヒ突進スル者又其一部
ハ二十七日老隘塘西北高地ノ敵ト交戦中ニシテ興隆山ニ向フ突進ヲ企圖ス
兒王部隊ハ洞口附近ノ敵ヲ攻撃セバ速ニ軍公路に沿フ地區ヲ先ツ江口ニ向ヒ突進ス
ル者

ニ部隊ニ部ヲ以テ速ニ側防陣地鉢巻山鹿岩陣地附近ヲ攻撃シ主力ヲ以テ概ネ
(四五〇高地―三角山―ナマコ山―鉢巻山―南高地―紅岩ノ線ヲ確保シ戦線ヲ
整理スルト共ニ爾後師團主力ノ進出ト呼應シ龍潭司附近ノ敵攻撃ヲ準備セ
ントス

三 飯島部隊ハ本夜(部ヲ以テ現在地ヲ堅固ニ確保スルト共ニ主力ヲ以テ陣地ヲ攻略該
地ヲ確保スベシ

尙木村高地ハ依然確保セシムベシ

四 宇梶部隊ハ第五中隊ニ連繫シ現在地ヲ堅固ニ確保シ明夜ナマコ山西端附近ノ
敵攻撃ヲ準備スベシ又第五中隊ノ三角山附近確保ヲ區處スベシ

五 杉田部隊(五、六、八)ハ主力ヲ以テ本夜第一大隊本部高地附近ニ移動シ明夜南高

地鹿岩陣地鉢巻山攻撃ヲ準備スベシ

六 第五中隊ハ宇梶部隊ニ連繫シ三角山及同麓附近ヲ堅固ニ確保シ我々右側背ヲ
嚴密警戒スベシ又警戒及確保ノ關シ宇梶部隊長ノ區處ヲ受フベシ

七 盛野部隊ハ主トシテ飯島部隊ノ戦闘ニ協同スベシ

八 兵小隊ノ配屬ヲ解フ

ハ 兵小隊ハ速ニ部隊本部位置ニ到リ予備隊タルベシ

九 爾余ノ諸隊ハ別紙要圖ノ如ク宿營地整定或配備ヲ担任シ敵ノ後方攪乱ニ
對シ萬遺憾ナキヲ期スベシ

十 各部隊ハ對空行動ヲ適正ヲ期シ特ニ重機ハ概ネ四〇〇米以内輕機 小銃ハ概
ネ二〇〇米以内ノ敵機ヲ撃墜スベシ

十一 ナマコ山東側高地ニ在リ

龍 部隊長

下達法 Ⅱ長要旨達ⅠⅢ 2部要旨電話命令受領者ヲ其ノ口達筆記後印刷交付
配布區分 D 隸下指揮下各部隊

飯島部隊二部(第六中隊)ヲ以テ薄暮ヨリ再ビ行動ヲ開始シ山砲ノ密接ナル支
援ノ下主洞東南側高地北端ノ敵陣地ニ近迫シ壯烈ナル手榴彈戰ヲ演シタル後
二五〇遠ニ敵陣地ノ一角ニ突入之ヲ奪取セリ 依ツテ直ニ安原小隊(第四中隊)
ヲ増加シ該地ヲ確保セシムルト共ニ敵逆襲ニ備ヘタリ

此ノ戰鬪ニ於テ第六中隊長代理梅本少尉以下大半ハ戰死傷シ特ニ小隊長
岸少尉ノ奮闘ハ鬼神ヲモ異カシムルモノアリ

受傷後從容トシテ東天ヲ拝シ「岸少尉ハ只今天皇陛下ノ御爲ニ笑ツテ死ニシテ
行キマス」ト叫ビツツ死ニ就キシ様ハ正ニ軍人ノ風範ニシテ將兵ノ肺腑ヲ抉リ熱淚
ニ咽バシムルモノアリタリ

小黃沙西側高地ノ我陣地(第七中隊確保)ニ對シテハ二〇敵機協同ノ下迫撃砲ノ
集中射撃ト共ニ約一ヶ連ノ敵逆襲ヲ反覆シ來レルモ悉ク撃退一七五〇頃敵ハ
後退セリ

聯隊長ハ二十七日夜杉田部隊主力ヲ以テ飯島部隊正面ニ轉進セシメ主洞西
側高地ノ敵陣地ヲ攻撃セシムベノ部署セシモ後方清山界方面ノ敵情ニ鑑ミ之

ヲ中止ス

宇提部隊方面ニ於テハ二十七日一八〇〇ヨリ約三〇〇ノ敵反覆主洞北側陣地ニ逆襲
シ來ルモ撃退セリ

二十七日モ〇八〇〇頃ヨリ二〇〇〇ノ間敵機P40 P51延約六〇機殆ント間斷ナク來襲シ
無差別的ニ銃爆撃ヲ反覆シ其ノ跳梁ハ最高頂ニ達スルモ我カ損害僅少ナリ

清山界方面ニ於テハ敵第十九師主力ハ逐次第一線ニ兵カヲ増強シ同地確保部
隊ハ依然該敵ト激戰中ナリシモ戰死傷續出シ逐次苦戰シタル情況ナリ 依ツテ
聯隊長ハ「部配備ヲ變更シ龍潭司方向ノ敵ニ對シ堅固ニ現第一線ヲ確保
スルト共ニ部ヲ隨時清山界方面ニ増援シ得ル總勢ニアラシメントシ二十八日一〇

三〇龍作命甲第六十六號ヲ下達ス

龍作命甲第六十六號

龍 部 隊 命 令

四月二十八日一〇三〇
ナマコ山東側高地

一敵情龍作命甲第六十四號ノ如シ

二部隊ハ一部配備ヲ變更シ龍潭司方向ノ敵ニ對シ堅固ニ第一線ヲ確保スルト

共二部より隨時清山界方向に對し出動し得る態勢ニテラシメントス

二 宇提部隊は右第一線に任務を杉田部隊に移動し主力を以て四ノ高地南麓附近に集結し隨時出動し得る態勢ニ在ルベシ

聯隊砲中隊主力を配屬ヲ解ク

四 杉田部隊は右第一線より三角山一ノ山ミミル間を堅固に確保し我々右側をラ塔護ハルトニ特ニ松山一ノ山方面敵情地形ヲ搜索スベシ

又一部火力ヲ以テ飯島部隊正面特ニ側防陣地 主洞南側高地北側ヲ側射シ得ル如ク準備スベシ

五 兩部隊責任轉移時概ハ二十八日二四〇〇トス

六 飯島部隊は現在地附近に堅固に確保し我々左側背ヲ掩護スルトニ特ニ道路以角ノ敵情地形ヲ搜索スベシ

尙水村高地ハ極力之ヲ確保スベシ

又一部火力ヲ以テマツ山ノ脚ヲ射撃し得ル如ク準備スベシ

七 飯島杉田兩部隊間ノ搜索警戒戰闘地境ハ

主洞ー龍潭司道トス(線上ハ右ニ屬ス)

八 盛野部隊ハ概シ現在地附近に陣地ヲ占領第一線兩部隊ノ戰闘ニ協同スベシ

九 聯隊砲中隊(一五)ハ現在地ニ於テ杉田部隊長ノ指揮下に入ルベシ

十 通信中隊ハ別紙要圖ノ如ク有線通信網ヲ構成スベシ

十一 工兵小隊ハ部隊本部附近防空壕構築ニ任ズベシ

十二 爾余ノ諸隊ハ集結地附近に整齊に嚴密にシムルト共ニ現任務ヲ續行スベシ

十三 予ハ警ヲ現在地ニ在リ日没後觀測山中復ニ到ル

龍 部 隊 長

下達法 正副司令官連工BAS 毎日電話命令受領者ヲ各メ口達筆記後印別交付

配布區分 口 線下指揮下各部隊

杉田宇提飯島部隊各前面爲景圖 別紙要圖第六其ノ二三四(二)ノ如シ
二十八日ニ到リ正面ノ敵ハ稍々平靜トナリタルヲ以テ銃意陣地ノ補強ニ勉ム

敵機四機(五機ニミギト) 四(午後二機來襲) 延約五〇機 同日モ早朝ヨリ終日間斷斷ノ來襲シ我陣地或ハ前哨ヲ銃撃シ或ハバトラム罐ヲ投下ムル等其ノ跳梁ハ依然執

初メシ人馬ノ被害僅ツナリ

敵部隊正副ノ於テハ敵機隊同ノ下ニ三〇〇ノ敵小黃沙西側陣地(半島ノ底)ニ對シ二十八日再ビ執拗ニ攻撃シ來リ紛戰亂闘(一時ハ我陣地一部ヲ奪取セシメタルモ又之ヲ奪回スル等激戦ノ後漸ク之ヲ確保セリ)

然レ共當時飯島部隊ノ兵員ノ損耗甚シク徒ラニ戦果ヲ擴張スルモ之ヲ確保困難ナル情状トナリシヲ以テ聯隊長ハ二十八日夜第三中隊ヲシテ小黃沙西側高地ヲ第一中隊ヲシテ小黃沙沙ノ字南側高地ヲ夫々撤去セシメ陣地線ヲ縮少セシメタリ

一方清山界確保部隊(第一中隊(獨立山砲一小屬))ニ對シテ二十八日朝來一團ノ敵來攻逐次兵力ヲ増強シ後ハ甚大ナル脅威ヲ受クルニ至ル

二十八日夜宇佐部隊ハ陣地ヲ杉田部隊ニ継承スベク着々準備中聯隊長ハ清山界確保部隊ヨリ敵ハ二十八日夕來俄然活潑ニ我陣地ニ猛攻ヲ加ヘ二二〇頃左陣地ハ敵ニ奪取ナレクル旨ノ報告ニ接ス

茲ニ於テ聯隊長ハ宇佐部隊ヲ速ニ清山界ニ増強該敵ヲ撃破シ背後ヲ掩護

セシメント決心シ二二〇龍炸命日第六十七號ヲ下達ス

龍炸命日第六十七號

龍部隊命令

四月二十八日二二〇
龍部隊司令部

一清山界確保部隊ヨリノ報告ニ依ルバ當面ノ敵情ハ二十八日夕來俄然活潑化シ我陣地ニ猛攻ヲ加ヘ二二〇頃我々左陣地遠ニ敵奪取セラレタリ

二部隊ハ第一中隊ヲ増強シ該地區ノ敵ヲ撃破シ我々背後ヲ掩護セシメントス

三宇佐部隊ハ速ニマコ山確保任務ヲ杉田部隊ニ移譲シ主力ヲ以テ清山界ニ急進第ニ中隊ヲ併セ指揮シ該地區ノ敵ヲ撃破我々背後ヲ掩護スベシ

又第一中隊ヲ現在地ニ於テ予ハ道轄クラシムベシ

四爾余ノ諸隊ハ現任務ヲ續行スベシ

五予ハ現在地ニ在リ

龍部隊長

下達法 五要旨電話命令交換等ヲ案ノテ進軍記後印刷文付

配布區分 D 隸下指揮下各部隊

依ツテ中提部隊ハ速ニ主洞北側高地確保ノ任務ヲ杉田部隊ニ委譲シ園井主
カヲ以テ清山界ニ急進セリ 轉進時配屬中ノ歩兵砲中隊(一小又)ヲ杉田部隊
長ノ指揮ニ入レ第九中隊ヲ三洞東北方附近ニ於テ聯隊直轄ヲラシム

ニテ七八日ニ於ケル主洞附近戰鬪經過概要 別紙要圖第七ノ如シ

〔二十九日〕天長ノ佳節ヲ主洞附近敵前ニ於テ迎ヘ各隊毎ニ東天ヲ拝シ聖壽ノ
萬歳ヲ新念スルト共ニ更ニ任務ニ邁進スヘノ誓ヘリ

聯隊長ハ早朝本部附近ノ部隊ヲ集合セシメ遙ニ皇居ヲ拝シ爾後左記訓示
ヲ與ヘ將兵ノ志氣ヲ鼓舞シ敢闘精神ヲ喚起セリ

作戰間天長節ヲ迎フルニ際シ與フル訓示要旨

作戰今ヤ正ニ酣ナラントスル秋本日茲ニ第四十四回ノ天長節ヲ敵前ニ迎ヘ感激亦
新ナルモノアリ

惟フニ我々皇國ハ隆國以來實ニ千六百有餘年皇統連綿トシテ未ダ嘗テ外敵
ノ辱ヲ受ヘザルトハ我々歴史ニ炳乎トシテ明カナルトヨミシテ今次作戰ノ真意義
モ亦八紘爲宇ノ建國ノ大精神ヲ顯現セシム爲ニ外ナシ

今ヤ部隊當面ノ敵ハ次第ニ其ノ兵力ヲ増強シ加之戰場ハ恰モ雪峰山山系ノ
峻峻ヲ擁シ敵機ノ跳梁亦熾烈ヲ極メ今後ニ於テ爾等戰ハ相當ノ波瀾ト困難
トヲ思ハシムルモノアリ 今回ノ戰線整理ハ次期ニ於ケル一大突破ニ備ヘンガ爲ニシテ他意
ナシ速ニ部隊ノ陣容ヲ整理完整スルト共ニ宣シテ鞏固ナル意志ヲ以テ悉ク之ヲ克服
關ヲ克服シ前進又前進一舉ニ此江飛行場ニ進出シ之ヲ覆滅セザンバ己ニナルベシ
然レ共振返ツテ今次屢次ノ戰鬪ニ於ケル戦死者 見ルニ未ダ敵情ヲ看セザル者
或ハ偽裝ノ不完全ナルモノ尠カラズ 諸君ハ宜シク此ノ点ニ思フ致シ徹底的ニ地形地
物ヲ利用スルト共ニ益々偽裝遮蔽ヲ完全ニ無益ノ損害ヲ招カサル如ク今一段注
意ヲ怠ルベラズ

又後方補給ノ困難ナル現状ニ鑑ミ特ニ糧秣節用ニ努メ緊要ノ時機不足ナ
カニシムルヲ要ス

之ヲ要スルニ今後部隊ハ益々一致團結全員特攻体當リノ精神ヲ發揮シテ或ハ
奇襲捷進斯込ヲ敢行シ以テ殘敵ノ掃蕩ニ邁進セザルベカラズ 特ニ本部ニ在ル諸
君ノ心氣昂揚セルト告グハ道ニ以テ部隊全敵ノ志氣ニ影響スルトヨロ甚大ナルモ

ノアルコトニ添テ思フ致シ益々忠君愛國ノ至誠ニ燃ヘ登ル敵國精ヲ食テ
シテ指揮機關ノ中樞タルノ實ヲ舉ゲアルベカラズ

本日茲ニ天長ノ佳節ヲ迎フルニ方リ諸士宣シノ内外ノ情勢ヲ洞察シ愈々必
勝ノ信念ヲ堅持シ軍固タル決意ノ下苦謀勇戦以テ本作戰ノ目的ヲ達ス
邁進スベシ

昭和二十年四月二十九日

龍 寺 部 隊 長

宇提部隊ハ二十九日〇七三〇清山界西方一新附近ニ到着セシモ清山界陣地ハ敵ニ
敵ニ奪取セラレ敵ノ一部清山界西南方ニ向テ殺到シタルヲ知リ周知部隊ハ直ニ前進
要點ヲ確保シ敵ノ前進ヲ拒止セリ
宇提部隊ヨリノ報告ヨリ右情況ヲ知得シ部隊長ハ一部ヲ以テ清山界附近ノ敵
ヲ撃破スルト共ニ更ニ一部ヲ以テ紅岩ノ景興橋一四五〇高地ニ亙ル要點ヲ確保シ我
背後ヲ堅固ナラシメント決心シ二十九日一二〇〇龍作命甲第六十八號ヲ次テ一九〇〇
龍作命甲第六十九號ヲ下達ス

龍作命甲第六十八號

龍 部 隊 命 令

四月二十九日一二〇〇
龍洞山東側高地

一字提部隊ヨリノ報告ニ依リ清山界ハ既ニ敵確保シテ

二部隊ハ一部ヲ以テ清山界附近ノ敵ヲ撃破スルト共ニ又一部ヲ以テ紅岩ノ景興橋

一四五〇高地ニ亙ル要點ヲ堅固ニ確保シ我々背後ヲ掩護セントス

三宇提部隊(九中隊)ハ主力ヲ以テ清山界附近ノ敵ヲ撃破シ一部ヲ以テ該地附近ヲ

確保スルト共ニ極力第十二中隊及山砲ノ掌握ニ努ムベシ

四盛野部隊ハ一部ヲ以テ景興橋東側高地附近要點ヲ確保シ敵ノ攻撃ヲ阻止セシ

ムベシ

五第三野戦病院ハ紅岩占領部隊及盛野部隊ト連絡シ木教洞東側附近要點

ヲ確保シ敵ノ攻撃ヲ阻止スベシ

六松本曹長ハ部下三名ヲ以テ木教洞附近ノ敵情ヲ搜索スベシ

七予ハ大貴沙西北方ニ新ニ在リ

龍 部 隊 長

1891

下達法 Ⅲ 要旨電報 松本署長より電話命令受領者より口達筆記後印刷交付
配布区分 D 部下指揮下各部隊

龍作命令第六十九號

龍 部隊命令

四月二十九日一五〇〇
現地 山梨縣高田

一 追撃砲六門ヲ有シ約一ヶ團ノ敵ハ二十四日以來清山界確保部隊ニ對シ攻撃ヲ續
行シ昨二十八日夜ニ於ケル猛攻ニ依リ陣地ハ遠ニ敵手ニ奪取セラルルニ至リ山砲一門モ
破壊ヨ余儀ナラスルノ上ナキニ至リタルモノ如シ

二 部隊ハ清山界奪取ニ奮闘スル宇梶部隊ニ部兵力ヲ増強スルト共ニ紅岩一景
興橋東側一四五〇高地ニ陣地ヲ占領シ後方ヨリノ敵進出ヲ阻止セントス

三 宇梶部隊(新ニ改編)ハ相本隊ヲ指揮シ山砲數列ノ一部ヲ區處シ銀角岩一景
興橋東側一四五〇高地ニ陣地ヲ占領シ該敵進出ヲ阻止スベシ

四 盛野部隊ハ平原部隊(山砲三門小銃數カニ)ヲ本二十九日一九〇〇現在地ニ發火
砲臺ヨリ目的ヲ以テ清山界ニ對進セシメ該敵ヲ驅逐シタル後宇梶部隊ト密ニ協
同シ該地附近ニ陣地ヲ占領セシメ敵進出ヲ阻止セシムベシ

五 第九中隊長ハ一分隊(長以下八名)ヲ二〇〇〇圭洞東北方三軒ノ隘路ロニ陣地ヲ占
領セシメ圭洞方向ヨリ進入ヲ予想セラルル敵ヲ拒止セシムベシ

尙聯隊兵器室ヨリ出ル長以下八名ノ確保部隊ト密ニ協同セシム

六 聯隊砲中隊ハ這ニ現在地ニ發清山界ニ到リ宇梶部隊長ノ指揮ニ入ルベシ

七 第二野戰病院ハ一部(長以下十名)ヲ以テ山砲數列ヲ占領部隊ト連繫シ木敷洞東
方一軒附近要點ヲ占領セシメ紅岩一銀角岩ノ谷地ヨリ進入ヲ予想セラルル敵
ヲ拒止セシムベシ

八 步兵砲中隊長ハ小銃彈藥二十八百發ヲ榴彈四〇發ヲ景興橋ニ於テ小林
技術中尉ニ返納スベシ

九 小林技術中尉ハ後方部隊ヨリ所要ノ彈藥ヲ返納セシメ前項彈藥ト共ニ宇
梶部隊ニ補給スベシ

十 二兵小隊ハ主力ヲ以テ前項彈藥ヲ輸送ニ任ズベシ

十一 爾余ノ各隊ハ龍作命令第六十三號ニ基テ陣地ヲ確保整旦セラルト共ニ自隊警
戒ニ遺漏ナキヲ期スベシ

1892

予ハ觀測山東側高地ニ在リ

龍 部隊長

下達法 命令受領者ヲ各メロ連筆記復即返答

配布區分 D 部下指揮下各部隊

半龍部隊ハ四三〇頃迫撃砲ノ集中火ヲ共ニ數度直リ來攻メ約二百ノ敵ヲ擊退シテ刻漸クミニテ第十中隊ノ殘存者ヲ掌握セリ

聯隊砲中隊(一小ス)ハ二十九日夜半龍部隊ノ陣地ニ至リソノ指揮ヲ入レリ

盛野部隊(284)ハ平原大隊(山砲三門小銃各力二〇)及聯隊隊列ノ一部ヲ以テ景興橋東側高地一銀角岩附近ノ要點ヲ又第二野砲ハ一部(長以下二〇名)ヲ以テ木敷洞東方一軒附近ノ要點ヲ夫々占領確保シ後方掩護ニ任セリ又聯隊ヲ備アリシ第九中隊ニハ一分隊ヲ以テ主洞東北方三軒隘路口ヲ占領セシメ主洞方向ヨリ進入ヲ予想スル敵ヲ拒止セシム

茲ニ於テ部隊ハ兵科部隊ヲ論スニトナク銃ヲ執リ龍源司方向ニ第五十師主力及第一師一部ヲ清山界方向ニ第九師ノ主力ヲ選ヘ四周ニ對シ防禦スルノ止メナ

キニ至レリ

主洞北側占領中ノ杉田部隊方面ニ於テ二十九日晝間ハ敵ノ行動比較的平靜ナリシモ夜ニ入リ三四〇ノ敵再ビ逆襲シ來テ壯烈ナル白兵戰ノ後之ヲ擊退セリ

飯島部隊正面ハ比較的平靜ナリキ

部隊ノ彈藥糧秣ハ逐次又之スルニ主食ハ戰鬪ノ傍ラニ蒐集シ第一線部隊ハ各人日二個ノ握リ飯ヨリ飯ヲ凌ギ任務遂行ニ邁進セリ

二十九日早朝ヨリ二〇〇〇三旦ノ間敵機四〇及隊延三十五機間斷ナク來襲シ執拗ニ我陣地ヲ銃爆撃セリ

本戰鬪間盛野部隊(獨ニ山砲)ハ主力ヲ以テ主洞北側高地ヲ一部ヲ以テ主洞東南側高地ヲ與橋東側高地ニ夫々陣地ヲ占領シ適時隨所ニ步兵ノ戰鬪ニ協同セリ我ニ此シ絶體優勢ナル敵ヲ包圍テ受テ下ラシクソノ攻撃ヲ破挫シ敵ニ乘スルノ機ヲ與ヘサリシハ其ニ配屬山砲ノ賜ナリ又配屬工兵小隊ハ克ク山砲ノ陣地進入等ヲ援助シ或ハ索一線ヘ彈藥運搬補給ニ任スル等小隊長以下ノ活動ハ實績ニ値ス

18728

師團無線分隊又克ノ繁忙ナル師團トノ交信ニ任シ適宜情報ヲ交換シ連日晝夜ヲ論スル分隊長以下激務ニ服セリ

野戰病院衛生隊亦連日累加スル戰傷者ノ收療ニ單日ナク克ク任務ヲ完遂セリ二十九日聯隊長ハ連日ノ敵機ノ跳梁ニ鑑ミ左記訓示ヲ以テ全將兵ノ注意ヲ喚起セリ

一連日ニ亘ル熾烈ナル敵機ノ銃爆撃ニ鑑ミ各隊ハ空襲ニ依ル人馬兵器ノ損耗ヲ蒙ラザル如ク堅固ナル防空壕ヲ造リ晝間特ニ敵機ノ來襲時之ニ退避スルヲ要ス

特ニ兵器ノ保全ニ關シテハ出發時聯隊長ノ要望セル所ニシテ各隊幹部ハ自ら之ヲ實行ノ指導監督ヲ要ス

偽裝遮蔽鉄帽ノ使用ニ關シテハ從來屢々機會アル毎ニ注意ヲ喚起シアル所ナルモ今尙其ノ實行ノ徹底ヲ見ズ特ニ戰死傷者中ノ大多數カ之ヲ實行シテラサルハ遺憾ナリ

幹部ハ各ニ之ヲ實行シテノ範ヲ示スト共ニ兵ニ部下ヲ愛スルニ努メ因ノ至情ヲ以テ

シ之ヲ實行ヲ監督指導スベシ

五戰鬪後ニ於ケル彼我形勢ノ概要

其ノ一敵情

敵ハ四圍ヨリ我ヲ包圍シテ逐次ノ外周ニ兵力ヲ増大シノ數約四師ナリ其ノニ我ノ軍ノ狀況

部隊ハ主洞北側高地ヨリ同東南側高地紅岩木教洞東側高地銀角岩景興橋東側高地清山界山ノ一帯高地ヨリ一四五〇高地ニ亘ル圓形陣地ヲ確保シ四周ニ對シ防禦ノ態勢ニアリ